

編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
107-211	高等学校	国語	古典探究	
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教科書名		

1.編修の基本方針

① 古典を読む資質・能力を高め、伝統的な言語文化への理解と関心を深める。

- ・教材を豊富に採録することで、選択の幅を広げました。
- ・古文編・漢文編のそれぞれをⅠ部・Ⅱ部の2部構成にし、時代やジャンルのバランスに配慮して教材を配置することで、古典を読む能力を段階的に養うことができるようにしました。
- ・単元扉を設け、その単元での学習目標と、学習する作品や教材に関連した年表を明示しました。また、各教材の「学習の手引き」「語句と表現」においては、学習が効果的に行えるようなポイントを示しました。
- ・「言語活動」を適宜設け、その活動と教材本文との関連を図ることで、古典や言語文化についての理解と関心を深めることができるようにしました。
- ・古文編Ⅰ部に「和歌の心―解釈のプロセス」を設け、和歌の構造や、和歌が地の文に与える効果を理解することで、古典の作品や文章に対する認識を深めることができるようにしました。
- ・古文編Ⅰ部の末尾に、古典に関する評論文「和歌というメディア」を採録し、古典における和歌の位置付けや意義、および外国の詩との相違点について知ることで、伝統的な言語文化についての理解と関心を深めることができるようにしました。

② 主体的に学ぶ態度を養い、思考力を伸ばすとともに、豊かな感性を育む。

- ・さまざまな「言語活動」に加え、古文編にはⅡ部第10単元「古典の注釈」を設け、古典が読み継がれてきた伝統や、古典を解釈するという文化について考えを深め、主体的に学び考える態度を養えるようにしました。
- ・漢文編Ⅰ部に、「項羽の評価を読み比べる」のページを設け、人物評を読み比べて自分の意見をまとめ、意見を交流させることで、登場人物に対する理解を深められるようにしました。
- ・古典に親しみ、将来にわたって主体的に学ぶ基礎を培うことができるよう、QRコンテンツを設けて、古典を理解するために必要な知識を補えるようにしました。
- ・さまざまな種類の論理的な文章も豊富に採録し、論理的に考える力を伸ばせるようにしました。
- ・「学習の手引き」「語句と表現」においても、読解力や思考力を養ったり、古人の豊かな感性について考えたりすることができるような設問を示しました。

③ 教材本文とコラム・附録等を有機的に関連させ、多様な学習に対応できるようにする。

- ・「参考」を適宜設け、単元や教材で学習した内容に関連する資料を示し、古典の文章相互の関連について考えたり、日本における漢文の受容について考えたりすることができるようにしました。
- ・コラムとして古文編では「古文の窓」(21か所)、漢文編では「漢文の窓」(10か所)を設け、単元や教材で学習した内容を深めたり広げたりできるようにしました。
- ・附録として、古文編では各種文法資料を充実させるとともに「古文重要語句索引」「日本古典文学史年表」を、漢文編では「漢文句法・重要語のまとめ」「中国文学史年表」を用意し、多様な学習に対応できるようにしました。また、学習の見通しや振り返りに生かせるように、「この教科書で学ぶこと」を用意しました。
- ・巻頭・巻末には、古典の世界についての理解を深める資料を豊富に用意しました。

2.対照表

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所	
古文編Ⅰ部	1 説話1	・知識と教養に基づいた古人のあり方を描いた教材を用意しました。(第1号)	→12～13ページ
	2 歌物語	・他者への敬愛について考えることができる教材を用意しました。(第3号)	→30～32ページ
	3 随筆1	・自然の美しさを描いた教材を用意しました。(第4号)	→36～37ページ
	4 軍記物語	・他者への思いやりについて考えることができる教材を用意しました。(第3号)	→46～49ページ
	5 随筆2	・普遍的真理について述べた教材を用意しました。(第1号)	→63～65ページ
	6 日記1	・個人の価値観の違いについて考えることができるコラムを用意しました。(第2号)	→80ページ
	7 作り物語1	・登場人物の心情の読み取りを通し、豊かな情操を培うことができる教材を用意しました。(第1号)	→82～90ページ
	8 歴史物語1	・伝統と文化について理解を深めることができる教材を用意しました。(第5号)	→104～105ページ
	9 詩歌	・和歌に表れた情景や心情から、生命や自然についての考えを深めることができる教材を用意しました。(第4号)	→108～113ページ
	10 近世小説1	・他者への思いやりを育んでいく人間のあり方に触れることができる教材を用意しました。(第3号)	→126～130ページ
	古文へのまなざし	・英語の詩との比較を通して、伝統的な言語文化への理解を深めることができる教材を用意しました。(第5号)	→131～135ページ
言葉の変遷を調べる	・言葉の変遷のあり方に触れることができる教材を用意しました。(第5号)	→136ページ	
古文編Ⅱ部	1 説話2	・絵画資料も通して、伝統と文化について考えることができる教材を用意しました。(第5号)	→138～143ページ
	2 日記2	・冷静に自己を見つめる姿勢を育むことができる教材を用意しました。(第1号)	→148～151ページ
		・古文相互の影響関係について理解を深めることができる教材を用意しました。(第5号)	→155～157ページ
	3 作り物語2	・相手を思いやる心や人間の生き方について考えることができる教材を用意しました。(第3号)	→160～194ページ
	4 歴史物語2	・能力を発揮し、自律の精神を持つ人間の生き方について触れることができる教材を用意しました。(第2号)	→196～205ページ
	5 評論	・古典について多面的に考察することができる教材を用意しました。(第1号)	→212～222ページ
	6 作り物語3	・古文の世界の多様性について触れることができる教材を用意しました。(第5号)	→228～238ページ
	7 俳諧	・自然の景観と人間の営みについて描いた教材を用意しました。(第4号)	→240～244ページ
		・真理を求める態度について考えることができる教材を用意しました。(第1号)	→245～248ページ
	8 上代の文学	・伝統的な言語文化の理解に資する教材を用意しました。(第5号)	→254～258ページ
9 近世小説2	・身近な人への愛情など、人間の営みについて考えることができる教材を用意しました。(第3号)	→264～271ページ	
10 古典の注釈	・古典がどのように受け継がれてきたのかを知り、古典に対する理解を深めるとともに、主体的に考える態度を養うことができる教材を用意しました。(第1号)(第5号)	→274～278ページ	

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所	
漢文編Ⅰ部	1 小話	・職務と責任について学ぶことができる教材を用意しました。(第2号)	→284～285ページ
	2 詩1	・名勝や季節の美しさを通じて自然への畏敬の念を学ぶことができる詩を用意しました。(第4号)	→288～291ページ
		・友人との別れを惜しむ心情を通じて友情の大切さを学ぶことができる詩を用意しました。(第3号)	→290ページ
		・日本人の作った漢詩を用意し、中国との関わりについて学習できるようにしました。(第5号)	→293～294ページ
	3 史記1	・古代中国の英雄である二人の生き方を通じて、それぞれの人生観にふれることができる教材を用意しました。(第2号)	→298～312ページ
	4 思想1	・儒家の思想について代表的な文章を取り上げ、幅広い知識と教養を身につけることができる教材を用意しました。(第1号)	→314～326ページ
		・孔子、孟子の文章に対しての日本人の解釈を載せ、日本と中国の関わりについて考えることができる教材を用意しました。(第5号)	→316～317ページ、 319ページ
	5 小説1	・中国の小説の特徴を知ることができる教材を用意しました。(第1号)	→328～332ページ
6 詩2	・国や時代を隔てた普遍的な家族に対する情愛について考えることができる教材を用意しました。(第3号)	→334～335ページ	
7 思想2	・道家の思想について代表的な文章を取り上げ、幅広い知識と教養を身につけることができる教材を用意しました。(第1号)	→340～345ページ	
8 文1	・正義や責任、社会といかに関わるべきかについて考えることができる教材を用意しました。(第3号)	→348～351ページ	
漢文編Ⅱ部	1 史話	・職務と責任について学習できる教材を用意しました。(第2号)	→361～364ページ
	2 詩3	・名勝や自然物の美しさを通じて自然への畏敬の念を学ぶことができる詩を用意しました。(第4号)	→370～375ページ、
		・離れ離れの家族を思う心情を描いた詩を用意しました。(第3号)	→374ページ
	3 史記2	・職業と人生について考える教材を用意しました。(第2号)	→388～393ページ
	4 白楽天と日本文学	・漢詩が日本文学にどのように影響を与えたかを学べる教材を用意しました。(第5号)	→396～403ページ、 404～406ページ
	5 小説2	・理想的な社会のあり方や、他者に対する愛情について考えることができる教材を用意しました。(第3号)	→408～415ページ
	6 思想3	・諸子百家の思想について代表的な文章を取り上げ、幅広い知識と教養を身につけることができる教材を用意しました。(第1号)	→418～428ページ
7 文2	・唐宋八大家について代表的な文章を取り上げ、幅広い知識と教養を身につけることができる教材を用意しました。(第1号)	→430～438ページ	

3.上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

- 教材に関係する文章を適宜紹介することで、古典として読み継がれる文章相互の関連や日本における中国文化の受容について理解を深めるとともに、日常的に古典の文章を読み広げる態度を養うようにしました。(学校教育法第51条2号)
- 「言語活動」や、各教材の手引きにおいて、調査報告・読み比べ・創作・課題探究などの活動を取り上げました。(学校教育法第51条3号)

編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表、配当授業時数表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
107-211	高等学校	国語	古典探究	
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教 科 書 名		

1.編修上特に意を用いた点や特色

- ① **目標**…伝統的な言語文化に対する関心と理解を深め、論理的に考える力や共感したり想像したりする力を育成し、社会人として求められる言語能力を身につけられるよう、伝統的な言語文化への興味・関心を広げられるような教材を選定し、「内容」に示された「知識及び技能」の二事項と、「思考力、判断力、表現力等」の一領域の学習が効率的・有機的に行えるようにしました。
- ② **「言葉の特徴や使い方」**…「知識及び技能」に示された「言葉の特徴や使い方」に関する事項の指導が行えるよう、教材ごとに重要語句や重要助字・句法を取り上げ、それぞれ附録に索引も用意しました。
- ③ **「我が国の言語文化」**…「知識及び技能」に示された「我が国の言語文化」に関する事項の指導が行えるよう、文語のきまり・訓読のきまりについて、読むことの学習に即して取り上げられるように配慮しました。また、「言葉の変遷を調べる」などのページでは、言葉の変化について理解を深められるようにしました。
- ④ **「A 読むこと」**…教材については、「3内容の取扱い」および「各科目にわたる指導計画の作成と内容の取扱い」に示された事項に留意して選定しました。言語活動については、読解教材に関連して行えるよう教材末の設問を工夫したり、特設ページを設けたりして示しました。古典についての評論文としては、「和歌というメディア」を採録しました。

2.対照表

単元	教材名	学習指導要領の内容		頁
		知識及び技能	思考力、判断力、表現力等 読むこと	
古文編 I 部				
1 説話1	宇治拾遺物語	(1)ア、イ、ウ、エ/ (2)ア、イ	(1)ア、イ、ウ、オ	12
	■古文の窓1 小野篁の謎	(1)イ/ (2)ア	(1)エ	13
	古今著聞集	(1)ア、イ、ウ、エ/ (2)ア、イ	(1)ア、イ、ウ、オ	14
	●和歌の心―解釈のプロセス	(1)イ、ウ、エ/ (2)イ	(1)イ、ウ、ク	16
2 歌物語	伊勢物語	(1)ア、イ、ウ、エ/ (2)ア、イ	(1)ア、イ、ウ、カ	22
	■古文の窓2 垣間見	(1)イ/ (2)ア	(1)エ	23
	大和物語	(1)ア、イ、ウ、エ/ (2)ア、イ	(1)ア、イ、ウ、カ	30

	■古文の窓3 『更級日記』の題名	(1)イ/ (2)ア	(1)エ	32
	[言語] 娵捨伝説を読み比べる	(1)ア、イ、ウ、エ/ (2)ア、イ、エ	(1)エ、カ、キ、ク/ (2)イ	33
3 随筆1	枕草子 [言語]	(1)ア、イ、ウ、エ/ (2)ア、イ、ウ	(1)ア、イ、ウ、オ、カ/ (2)ア	36
	■古文の窓4 紫式部の初出仕	(1)イ/ (2)ア	(1)エ	43
	■古文の窓5 平安時代の後宮一定子をめぐる人々	(1)イ/ (2)ア	(1)エ	44
4 軍記物語	平家物語 [言語]	(1)ア、イ、ウ、エ/ (2)ア、イ	(1)ア、イ、ウ、カ/ (2)エ	46
	[言語]「忠度の都落ち」を読み比べる	(1)ア、イ、ウ、エ/ (2)ア、イ	(1)ウ、エ、ク/ (2)イ	50
	■古文の窓6 『平家物語』諸本と『建礼門院右京大夫集』が描く乱世	(1)イ/ (2)ア	(1)エ	58
5 随筆2	方丈記	(1)ア、イ、ウ、エ/ (2)ア、イ、ウ	(1)ア、イ、ウ、カ、ク	60
	徒然草	(1)ア、イ、ウ、エ/ (2)ア、イ	(1)ア、イ、ウ、カ	62
	玉勝間 [言語]	(1)ア、イ、ウ、エ/ (2)ア、イ	(1)ア、イ、エ、カ、ク/ (2)イ	70
6 日記1	更級日記	(1)ア、イ、ウ、エ/ (2)ア、イ	(1)ア、イ、エ、オ	74
	蜻蛉日記	(1)ア、イ、ウ、エ/ (2)ア、イ	(1)ア、イ、ウ、オ、カ	78
	■古文の窓7 日記作者と物語一道綱母・孝標女をめぐって	(1)イ/ (2)ア	(1)エ	80
7 作り物語1	源氏物語(一) [言語]	(1)ア、イ、ウ、エ/ (2)ア、イ、ウ	(1)ア、イ、ウ、エ、カ、ク/ (2)ア	82
	■古文の窓8 紫のゆかり	(1)イ/ (2)ア	(1)エ	90
8 歴史物語1	大鏡(一) [言語]	(1)ア、イ、ウ、エ/ (2)ア、イ、ウ	(1)ア、イ、ウ、エ、カ/ (2)イ	92
	[言語]道真伝説を調べる	(2)ア	(1)キ、ク/ (2)オ	104
	■古文の窓9 語り伝えられる陰陽師・安倍晴明	(2)ア	(1)エ	106
9 詩歌	八代集の世界 [言語]	(1)ア、イ、ウ、エ/ (2)ア、イ	(1)ア、イ、ウ、オ/ (2)ウ	108
	歌合 [言語]	(1)ア、イ、ウ、エ/ (2)ア、イ	(1)ア、イ、エ、キ、ク/ (2)ア	114
	歌論 [言語]	(1)ア、イ、ウ、エ/ (2)ア、イ	(1)ア、イ、エ、オ/ (2)ア	117
	歌謡	(1)ア、イ、ウ、エ/ (2)ア、イ	(1)ア、イ、エ、ク	122
	■古文の窓10 沖縄の歌謡—オモロ・琉歌	(1)イ、エ/ (2)ア	(1)エ	124
10 近世小説1	世間胸算用	(1)ア、イ、ウ、エ/ (2)ア、イ、ウ	(1)ア、イ、エ、オ	126
古文へのまなざし	和歌というメディア	(1)イ、エ/ (2)ア、エ	(1)エ、カ、ク	131
	[言語]言葉の変遷を調べる	(1)ア、エ/ (2)ア、イ、ウ	(1)キ、ク/ (2)カ	136
古文編 II部				
1 説話2	宇治拾遺物語 [言語]	(1)ア、イ、ウ、エ/ (2)ア、イ	(1)ア、イ、ウ、エ、ク/ (2)オ	138
	■古文の窓11 説話と絵巻	(1)イ/ (2)ア	(1)ク	143

	発心集	(1)ア、イ、ウ、エ/ (2)ア、イ	(1)ア、イ、ウ、カ	144
	■古文の窓12 仏教説話と世俗説話	(1)イ/ (2)ア	(1)エ	146
2 日記2	紫式部日記	(1)ア、イ、ウ、エ/ (2)ア、イ	(1)ア、イ、エ、カ	148
	和泉式部日記	(1)ア、イ、ウ、エ/ (2)ア、イ	(1)ア、イ、ウ、ク	152
	十六夜日記〔言語〕	(1)ア、イ、ウ、エ/ (2)ア、イ	(1)ア、イ、エ、ク/ (2)イ	155
	〔言語〕日記を文語で書く	(1)ア、イ、ウ、エ/ (2)イ、ウ	(1)ウ、オ、ク/ (2)ウ	158
3 作り物語2	源氏物語(二)〔言語〕	(1)ア、イ、ウ、エ/ (2)ア、イ、エ	(1)ア、イ、ウ、カ、キ、ク/ (2)イ	160
	■古文の窓13 六条院	(1)イ/ (2)ア	(1)エ	176
	■古文の窓14 『源氏物語』の世界	(1)イ/ (2)ア	(1)エ	184
	■古文の窓15 宇治十帖の女性たち	(1)イ/ (2)ア	(1)エ	190
4 歴史物語2	大鏡(二)	(1)ア、イ、ウ、エ/ (2)ア、イ	(1)ア、イ、ウ、エ、カ	196
	〔言語〕伊周の人物像を読み比べる	(1)ア、イ、ウ、エ/ (2)ア、イ	(1)ウ、エ、キ、ク/ (2)イ	206
	■古文の窓16 道長の栄華と望月の歌	(1)イ/ (2)ア	(1)エ	210
5 評論	俊頼髓脳	(1)ア、イ、ウ、エ/ (2)ア、イ	(1)ア、イ、ウ、カ	212
	無名抄	(1)ア、イ、ウ、エ/ (2)ア、イ	(1)ア、イ、ウ、オ、カ	214
	正徹物語	(1)ア、イ、ウ、エ/ (2)ア、イ	(1)ア、イ、エ、カ、ク	216
	無名草子	(1)ア、イ、ウ、エ/ (2)ア、イ	(1)ア、イ、エ、カ	218
	源氏物語玉の小櫛	(1)ア、イ、ウ、エ/ (2)ア、イ	(1)ア、イ、エ、カ	220
	■古文の窓17 本居宣長以前の『源氏物語』論	(1)イ/ (2)ア	(1)エ	222
	花鏡〔言語〕	(1)ア、イ、ウ、エ/ (2)ア、イ、エ	(1)ア、イ、ウ、オ、カ、キ/ (2)ア	223
	虚実皮膜論	(1)ア、イ、ウ、エ/ (2)ア、イ	(1)ア、イ、ウ、オ、カ	225
6 作り物語3	落窪物語	(1)ア、イ、ウ、エ/ (2)ア、イ	(1)ア、イ、ウ、カ	228
	堤中納言物語	(1)ア、イ、ウ、エ/ (2)ア、イ	(1)ア、イ、ウ、オ	231
	■古文の窓18 物語の新たな書きだし	(1)イ、エ/ (2)ア	(1)エ	234
	とりかへばや物語	(1)ア、イ、ウ、エ/ (2)ア、イ	(1)ア、イ、ウ、カ	235
	■古文の窓19 『源氏物語』以降の物語	(1)イ/ (2)ア	(1)エ	238
7 俳諧	芭蕉	(1)ア、イ、ウ、エ/ (2)ア、イ	(1)ア、イ、ウ、カ	240
	蕪村	(1)ア、イ、ウ、エ/ (2)ア、イ	(1)ア、イ、ウ、カ	243
	去来抄〔言語〕	(1)ア、イ、ウ、エ/ (2)ア、イ	(1)ア、イ、ウ、オ、ク/ (2)イ	245
	三冊子	(1)ア、イ、ウ、エ/ (2)ア、イ	(1)ア、イ、エ、カ	249

		(2)ア、イ		
	[言語]連句をよむ	(1)イ、ウ、エ/ (2)ア、イ	(1)イ、ウ、オ/ (2)ウ	251
8 上代の文学	古事記	(1)ア、イ、ウ、エ/ (2)ア、イ、ウ	(1)ア、イ、ウ、カ、ク	254
	万葉秀歌	(1)ア、イ、ウ、エ/ (2)ア、イ	(1)ア、イ、ウ、オ	259
	■古文の窓20 『万葉集』の表記	(1)ア、イ/ (2)ア	(1)エ	262
9 近世小説2	雨月物語	(1)ア、イ、ウ、エ/ (2)ア、イ	(1)ア、イ、エ、カ	264
	■古文の窓21 中国小説の翻案	(1)イ/ (2)ア	(1)エ	272
10 古典の注釈	『小倉百人一首』の注釈を読む	(1)ア、イ、ウ、エ/ (2)ア、イ、エ	(1)エ、オ、キ、ク/ (2)ア	274
漢文編 I 部				
1 小話	小話一四編	(1)ア、ウ/ (2)イ、ウ	(1)ア、イ、ウ、キ/ (2)ア	280
2 詩1	近体詩一六首	(1)ア、イ、エ/ (2)ア、イ、エ	(1)ア、イ、エ、カ	288
	日本の漢詩一二首	(1)ア、イ、エ/ (2)ア、イ、エ	(1)ア、イ、エ、カ	293
	[言語]漢詩の作り方を知る	(1)イ、エ/ (2)イ、エ	(1)キ、ク/ (2)ウ	295
	■漢文の窓1 明治の文豪と漢詩	(2)ア、エ	(1)ウ、エ、カ	296
3 史記1	項羽 [言語]	(1)ア、ウ/ (2)イ、ウ	(1)ア、イ、エ、カ/ (2)ア	298
	■漢文の窓2 捲土重来	(2)エ	(1)ウ、ク	309
	項羽の評価を読み比べる	(1)イ/ (2)イ、エ	(1)ア、イ、エ、ク	310
4 思想1	儒家の思想 [言語]	(1)ア、ウ/ (2)イ、ウ、エ	(1)ア、イ、ウ、オ、キ/ (2)イ	314
5 小説1	小説一二編	(1)ア、ウ/ (2)イ、ウ	(1)ア、イ、ウ、キ	328
6 詩2	古詩一四首	(1)ア、イ、ウ、エ/ (2)イ	(1)ア、イ、エ、カ	334
7 思想2	道家の思想	(1)ア、ウ/ (2)イ、エ	(1)ア、イ、ウ、オ、キ	340
	■漢文の窓3 儒家と道家	(2)ウ、エ	(1)ア、イ、ウ、カ	346
8 文1	文一三編	(1)ア、ウ、エ/ (2)イ、エ	(1)ア、イ、ウ、オ、キ	348
漢文編 II 部				
1 史話	三国志の世界 [言語]	(1)ア、ウ/ (2)イ	(1)ア、イ、エ、カ/ (2)キ	358
	■漢文の窓4 三国志	(2)ア、エ	(1)エ	365
	日本外史	(1)ア、イ、ウ/ (2)イ、ウ、エ	(1)ア、イ、エ、カ	366
2 詩3	李白と杜甫	(1)ア、イ、ウ/ (2)イ	(1)ア、イ、エ、カ	370
	■漢文の窓5 届く言葉と届かない言葉	(2)エ	(1)エ、カ	378
3 史記2	荊軻伝	(1)ア、ウ/ (2)イ	(1)ア、イ、エ、カ	380

	■漢文の窓6 士は己を知る者のために死す―「刺客列伝」	(2)エ	(1)エ	387
	韓信伝	(1)ア、ウ／ (2)イ、ウ	(1)ア、イ、エ、カ	388
	■漢文の窓7 劉邦と漢の三傑	(2)エ	(1)エ	394
4 白楽天と日本文学	白楽天〔言語〕	(1)ア、イ、ウ／ (2)ア、イ	(1)ア、イ、エ、キ／ (2)イ	396
	和漢朗詠集	(1)ア、イ、ウ／ (2)ア、イ	(1)ア、イ、エ、キ	404
	■漢文の窓8 白楽天と日本人	(2)ア	(1)エ	406
5 小説2	小説一二編〔言語〕	(1)ア、ウ／ (2)イ	(1)ア、ウ、キ／ (2)イ	408
	〔言語〕本の帯を作ろう	(2)エ	(1)オ、ク／ (2)オ	416
6 思想3	諸子百家	(1)ア、ウ／ (2)イ、ウ、エ	(1)ア、イ、ウ、オ、キ	418
	■漢文の窓9 始皇帝と韓非	(2)エ	(1)エ、オ	427
	■漢文の窓10 諸子百家	(2)エ	(1)エ	428
7 文2	唐宋八大家の文章〔言語〕	(1)ア、ウ／ (2)イ、ウ、エ	(1)ア、イ、ウ、オ／ (2)イ	430

音訓一覽表

(数字は初出ページを示す。)

(前見返し)

② 伊勢 初冠 徒然草 更級 雲林院 菩提講 和泉 十六夜 俊頼 皮膜 誘い 三冊子 ③
当ニ 暫ク 詣ル 未ダ 黄昏 恋ひ

(目次)

2 垣間見 本居宣長 詞 孝標女 寝る 道真 3 忠度 偶 出家 陰陽師 安倍 紀貫之
西鶴 4 蓮花 入水 女郎花 御局 東 世阿弥 5 賢木 鶏 御法 伊周 隆家 望月 月夜
卯兵衛 服部 建 命 宇比 6 先ヅ 従リ 完 ウシテ 井伏鱒二 岑参 猶ホ 下キニ 7 路
非ズ 若シ 漁父 8 秋浦 早ニ 9 見ル 出ヅ 陳ス 象ル 能ク 10 牛車

(本文)

12 帝 候ひ 誰 給ひ 悪 13 松平定信 八十 14 侍 名簿 大臣 蔵人 違ひ 青柳
疾く 有仁 経 15 直垂 賜は 寛平 友則 成季 18 仁徳 后 日 19 不 侍り 20 宗
于 離れ 難波江 湮標 一節 22 平城 春日 領る 狩衣 信夫 融 23 陸奥 24 東 大
后 宮 訪ひ 正月 去年 25 朝 子 外 童 率て 26 今宵 国守 斎宮頭 続松 御
親王 縁 松明 27 平城 業平 冬嗣 長良 水無瀬 翁 大御酒 28 三月 御髪 正月 30
妻 悪しき 所狭がり 給ひ 千曲 31 寝 冠着 32 天曆 33 郡 前 冠山 巾子 36
前裁 透垣 羅文 文屋朝康 37 網代 児 炭櫃 氷魚 蘇芳 襄 38 験者 物の怪 独鈷
数珠 困じ 司 上達部 下衆 39 歩き 公卿 41 看ル 42 御殿油 頭証 葛城 役 43
長保 44 高階 45 法華 経 提婆達多品 巖島 46 頼朝 義仲 五条 別 候はず 経盛 教盛
重盛 知盛 重衡 能登 維盛 資盛 47 疎略 脇盾 48 甲 前途 暮 49 長等 50 延慶
見参 思し 52 範頼 神戸 長門 重能 長刀 判官 渡辺 53 札 柄 54 安芸 実光 剛
弟 猛う 主 従 弓手 馬手 55 上総 56 例 賞で 右近 57 被き 貞永 仁平 大神基
政 公達 浮き海布 60 大極殿 富小路 煙 七珍万宝 61 賀茂御祖 寄人 62 吾妻人 実
聖 聖教 理 65 鳥部山 愛宕 66 一年 四十 陽 則チ 辱 67 対ひ 傾く 因香 69
卜部兼好 70 雅び 71 情 寿 ぎ 水沫 千歳 大伴家持 72 外国 松阪 石上私淑言 73
狩野 74 継母 額 常陸 成行 75 芳郎 76 太秦 77 倫寧 78 天一神 西洞院 太政 80
双六 拓く 82 唐土 妃 83 抛り 男皇子 朱雀 85 脇息 按察 乳母 86 犬君 薫き 87
光吉 88 髪ざし 僧都 齢 89 消息 90 御息所 明石 為時 武蔵野 92 先つ 殿下 黄泉
宇多 師輔 公任 冷泉 93 舍人 大犬丸 大宅 姓 近衛 94 繁樹 95 齐世 才 帥 朝廷
太宰 96 東風 駅 長 乙訓 97 是レ 遠方 98 九月 衣 腸 字 99 睡り 便チ 為
リ 泰ク 処 100 懐仁 丙戌 山科 師貞 101 神璽 春宮 破り 102 朕 109 曾禰 110
陸奥国 御手洗 魂 述 懐 朝臣 雅致 111 顕輔 園城 義清 鳥羽 112 狭野 長 忌寸 奥麻
呂 隠岐 113 凡 河内 躬恒 壬生 大中臣 順 通俊 崇徳 通具 114 以つ 能は 頻りに

うかが 候ふ 115 密かに 若しくは 115 遂 為す 116 宴 宜しく 入集 117 天地 武士 女 118
 めで 愛で 康秀 商人 119 衣通 近江 122 現 戯れ 123 世間 124 天 鳴響む 三線 恩納
 ウエ ウム カジ ヲガ グキ サトウ 及 思 影 拝 岳 里 125 銀 大店 越後 126 銀 場 天満祭 晦日 127 遠江 牛頭
 128 婆 129 母 退き 訪ひ 131 精進 136 甲 乙の 丁 138 善男 信 烏帽子 直衣
 よしみ 良相 139 顕し 昼 140 大路 中庸 146 十訓抄 媒 148 遣水 従姉 149 美材 150
 さい 左衛門 後 書 惟規 151 一昨年 楽府 152 築地 為尊 153 枝 155 阿闍梨 谷 156 隙
 なる 鳴海 遠江 誰 長柄 酒匂 興津 小夜 見附 泥 157 為相 為守 158 紫陽花 兵 未
 160 手鑑 161 宿直 162 弓弦 奏し 御溝水 163 長押 失せ 166 神官 火焼き 167 斎
 がき 垣 少女 168 君達 169 尚侍 四方 続 170 画 単 指貫 虹 171 列 将監 介 174
 つらば 類杖 177 督 179 階 181 留ま 183 野分 184 空蟬 高麗 185 行幸 梅枝 主 187 競
 ひ 調 188 喩フ 189 洒落 190 総角 191 邸 逸ら 192 少輔 中務 193 常磐 194
 いなば 因幡 領ずる 横川 195 竜頭 199 豊楽 仁寿 塗籠 従者 右衛門 200 賜べ 申し 術
 201 御座 203 中心 207 眠り 御殿 徹ル 209 俊賢 211 都万大夫 212 交
 の 野 長能 道濟 枚方 213 木工 216 夜半 220 紀伊守 222 為章 223 態 224 結 足利義
 みつ 満 高砂 225 合点 虚 真 紅脂 白粉 国性爺 228 帯刀 愛敬 233 帷子 女童 237
 もや 母屋 238 従妹 松浦宮 由紀夫 240 悪ま 唯 241 乾坤 黄昏 詠め 243 九十九 244 街
 とんよく 貪欲 与謝 245 近江 246 史邦 有磯 247 許六 各務 248 落柿舎 250 四時 253 新治
 か 日々 並べ 火焼 254 比売 美夜受 相模 国造 弟 白し 覆 奏す 焼遺 焼津 255
 きがわ 相模 辺 陵 還り 食む 化り 遣せ 詔り 甲斐 乾飯 256 続き 誉め 刀 伊服岐 徒手
 つかひ 使者 惑はし 息ひ 醒井 257 能煩野 思ひ 全け 平群 髻華 思国歌 愛しけ 我家 大刀
 きり 崩り 駆使 稲幹 野老 旋頭 258 八尋 小竹 陵 阿礼 太安万侶 259 幸く 朝臣
 おほきみ 大王 京 泊瀬 山道 禁樹 斉明 八色 娃 天照大神 260 日並 尊 初瀬 261 高市連
 あけ 赤 宿禰 依り 262 吉事 防人 264 下総国葛飾郡 郷 祖父 旧しく 生長り 性 農作
 うから 親族 左右 氏族 肯ひ 他 265 調へ 266 聞けれ 足音 旧 標 267 間 灯火 輝々
 こひと 他人 眼 結び 夫 潜然 師 潰え 管領 八月 山賊 節刀使 与し 陣 辺り 憲忠 東
 つねより 常縁 268 尺 間 餬口ひ 隠れ 寡 辛苦 実 269 消息 丈夫 鎖 熟く 天 扉 湿ち 延
 ひ 埋もれ 270 踏所 死り 鬼 閨房 簀子 夜 末期 覚り 271 漆間 手児女 明 藤篋冊子
 272 丈部 赤穴 約 魚服 証仙 大宅 白娘子 永鎮 雷峰塔 清 建部綾足 274 鹿 音
 こころ 意 冷まじ 275 景樹 277 後朝 278 白妙 敏行 279 王仁 280 操ル 可シ 夫レ 281
 し 如ク 釈ス 282 古 況ンヤ 是 側 284 和 易フ 見 往ク 頭 与 遣ム 懐ク 286 少
 シ 所以 枕 濟 287 鑑真 289 須キル 発ク 厄除け 到ル 円カ 何レ 290 四百八十寺
 なんきん 南京 291 空シ 復タ 294 去ク 後ル 295 夕 滴ル 296 坊っちゃん 生 平仄 297
 べつ 別姫 298 見ユ 意フ 299 今者 令ム 与ニ 者 数 者 起ツ 若 前ム 不者ンバ 且ニ
 とり 虜 301 即チ 止ム 内ル 側ツ 披ク 視ル 何為ル 覆ス 宛 302 安クンゾ 勝フ 如ク
 こときら 故 苦ダ 耳 窃カニ 303 須臾 如ク 奈何 如今 方ニ 304 為ル 305 蓋フ 泣 306
 ほろ 亡ボス 縦ヒ 307 面ク 降る 308 購フ 309 羞 哀シム 与ニ 310 嫉ム 予フ 311 中

将キル 懐フ 312 卒ニ 314 博ク 篤ク 仲尼 315 舍ツ 由ル 316 与ル 故 317 負く
 318 対フ 遷ス 式ビス 亡シ 諸 319 与 320 貌 背後 321 尖端 身体 刃 323 双松
 324 過ユ 行ル 是ク 325 偽 順フ 将ニ 道ク 用ツテ 観ル 328 随フ 329 想フ 330
 太ダ 何如 略 331 唯ダ 唾 遇フ 作ス 行 著ク 索ム 径チニ 334 帰グ 335 各
 阻シ 晩ル 道フ 336 掌 羅 家 337 自ヅカラ 采ル 佳シ 此中 341 処リ 342 幾シ
 344 累ハス 蔵ム 寧口 345 昔者 諭シミ 適ヘル 与 348 与 清ム 酔フ 醒ム 349 弾
 ク 350 濯フ 352 何許 詳ラカ 毎 造ル 353 曾テ 娛シム 354 逆旅 百代 歡ビ 幾何
 良ニ 召ク 以 仮ス 転タ 伸ブ 如シ 356 但ダ 358 卒ス 奔ル 悦ブ 遺ル 359 逆フ
 詐ル 予メ 発ツ 烈シ 360 衆シ 壊レ 向者 361 終ニ 効シ 362 秋 昭ラカ 363 傷
 フ 365 邪馬台国 366 陰カニ 困シム 367 等 掃フ 370 縁ル 似シ 個ク 裏 住ム 371
 征ク 揮フ 372 解クス 徒ラニ 将 須ラク 同ニ 374 看 憶フ 湿フ 双ブ 376 且
 ク 長ニ 377 軍 炊ぐ 380 証 381 頃ク 提グ 382 変徴 384 少ク 385 逐フ
 環ル 卒カ 陳ナル 方タリ 夏無且 提ツ 386 中タル 就ル 良 387 蔵 388 常テ 患フ
 具フ 132 食フ 死ス 391 疾ヤカ 392 詳ル 393 以為ヘラク 上 394 曹参 396 識ル
 棄ツ 側ラ 扶ク 度ル 397 粧フ 398 動ス 委ツ 少 行宮 旋ル 399 信ス 未央 如何
 挑グ 400 与共ニス 致ク 教ム 奔ル 電 遍シ 膚 貌 参差 401 聞道ク 偏ク
 将ツテ 会ズ 402 住み処 翼 403 伝 容貌 404 住マル 406 易ク 408 溪 異シム 409
 其中 410 並 要フ 延ク 停マル 扶フ 向 誌ス 411 規ル 尋グ 412 寡ナシ 美シ 毎ニ
 妻ス 私カニ 可ク 上ル 413 匿ス 向ル 顔 414 独身 首メ 更ム 潜カニ 417 劉
 向 418 舍ク 科 放ル 420 語グ 421 窃ミテ 夫ノ 北グ 422 济フ 424 尚ブ 見ス
 虚シ 既以ニ 425 交 将タ 賊フ 426 畜フ 陳ブ 427 守株 428 縦横家 合従 430
 死肌 嗣グ 431 幾ド 戚ム 432 尚ホ 齒 434 式ス 識ス 435 幸フ 大凡ソ 貧ル 反
 リテ 436 事フ 济ス 438 創メテ 所謂 設シ 444 給ぶ 445 御座 448 出雲 景戒 449
 讚岐典侍 忠親 赤穂 453 容シ 肯ズ 456 説ブ 458 故シ 466 伍員 孔穎達 蒙求 資
 治通鑑 467 沈約 四書集注 金瓶梅

(卷末)

- ④ 五十日 ⑤ 露 頭 ⑥ 晝 汗衫 ⑦ 直衣 ⑧ 和琴 ⑨ 透 反 築 ⑩ 手水 呉竹
 ⑫ 為恭 ⑬ 檜皮 梔子 青鈍 ⑭ 令外官 長官 次官 判官 主典 勘解由使 檢非違使 刑
 部 淑景 御息所 殿 尚 典 掌 ⑮ 将監 佐 尉 散位 典侍 ⑯ 午 申 辛 乾

出典一覧表

※下記以外の教材、写真、図、地図はすべて自社作成。原則として、表記・句読点の訂正は除く。

申請図書			出典					備考
ページ	名称	種別	名称	ページ	著作者等	発行者	発行年次等	
③	七月七日…	国語教材	汪紹楹（校） 『藝文類聚』	76		上海古籍出版社	1982	（下欄参照）
指導上の配慮により、以下の修正を行った。／原典P76L5「七月七日」～L6「暫詣牽牛」を採録した。／P76L6「諸仙悉」～「弟問曰」を削除した。／P76L6「答曰織女」を削除した。								
③	金鈿已照耀…	国語教材	汪紹楹（校） 『藝文類聚』	78		上海古籍出版社	1982	（下欄参照）
指導上の配慮により、以下の修正を行った。／原典P78L7「金鈿已照耀」～「嬌含渡浅河」を採録した。／P78L7「至」を「後」に変更した。								
③	わが背子に…／ 天の川…	国語教材	新日本古典文学大系2 『萬葉集 二』	469、476		岩波書店	2000	（下欄参照）
2015番歌、2044番歌を採録した。								
11	『雀の夕顔』（奈良絵本）	写真						広島大学図書館
12	宇治拾遺物語	国語教材	新日本古典文学大系42 『宇治拾遺物語 古本説話集』			岩波書店	1990	（下欄参照）
指導上の配慮により、以下の修正を行った。／原典P102L10～P103L5を採録し、「小野篁、広才のこと」と表題を付した。／P102L13「『さがなくて、よからんと…のろひ参らせてなり』と」→「『『さがなくてよからむ』と…呪ひ参らせて候ふなり。』と」／P103L3「ねもじ」→「『ね』文字」								
13	小野篁	写真	「古画類聚」		松平定信編			東京国立博物館
14	古今著聞集	国語教材	新潮日本古典集成 『古今著聞集 上』			新潮社	1983	（下欄参照）
指導上の配慮により、以下の修正を行った。／原典P246L5～P247L10を採録し、「能は歌詠み」と表題を付した。								
18	君が行き…	国語教材	新日本古典文学大系1 『萬葉集 一』	85		岩波書店	1999	（下欄参照）
85番歌を採録した。								

19	文集、嘉陵春夜詩…	国語教材	新日本古典文学大系11 『新古今和歌集』	34				(下欄参照)
指導上の配慮により、以下の修正を行った。／55番歌を採録した。／「詩ニ」→「詩」／「朧々」→「朧朧」								
20	山里は…／難波江の…	国語教材	新編国歌大観 第五巻	933、934		角川書店	1987	(下欄参照)
28番歌、88番歌を採録した。								
21	「伊勢物語かるた」	写真						細見美術館
21	「八橋蒔絵螺鈿硯箱」	写真			尾形光琳			東京国立博物館
22	伊勢物語	国語教材	新日本古典文学大系17 『竹取物語 伊勢物語』			岩波書店	1997	(下欄参照)
指導上の配慮により、以下の修正を行った。／「初冠」：原典P79L2～P80 L4を採録し、「初冠」と表題を付した。／P80L1「思けん、」→「思ひけむ。」／原典P82L2～P83L1までを採録し、「月やあらぬ」と表題を付した。／P82L6「又の年の正月に…」で改行した。／P82L9「…よめる。」→「…詠める、」／原典P144L6～P147L2までを採録し、「狩りの使ひ」と表題を付した。／P144L10「二日と…」で改行した。／P145L9「つとめて、…」で改行した。／P146L1「…よめる。」→「…詠める、」／P146L3「野にありけど…」で改行した。／P146L4「斎(いつきの)宮の守(かみ)」→「斎宮頭(さいぐうのかみ)」／P146L7「夜やう…」で改行した。／原典P160L3～P161L8までを採録し、「小野の雪」と表題を付した。／「つひにゆく道」：原典P193L8～P194L2を採録し、「つひにゆく道」と表題を付した。								
23	「伊勢物語絵巻」	写真			住吉如慶			東京国立博物館
27	「伊勢物語絵巻」	写真			住吉如慶			東京国立博物館
30	大和物語	国語教材	新編日本古典文学全集12 『竹取物語 伊勢物語 大和物語 平中物語』			小学館	1994	(下欄参照)
指導上の配慮により、以下の修正を行った。／原典P391L2～P392L12を採録し、「姨捨」と表題を付した。／P391L12「月のいと…」およびP392L5「この山の上より…」で改行した。／P392L7「よみたりける。」→「詠みたりける、」								
31	冠着山	写真						アマナ25388004929
32	藤原定家が写した写本	写真						皇居三の丸尚蔵館
33	俊頼髓脳	国語教材	冷泉家時雨亭叢書第79巻 『俊頼髓脳』		源俊頼	朝日新聞社	2008	(下欄参照)
原典をもとに編集委員会で校訂を行い、本文を作成した。								
35	清少納言	写真			上村松園			北野美術館
36	枕草子	国語教材	新編日本古典文学全集18 『枕草子』		清少納言	小学館	1997	(下欄参照)
それぞれ、指導上の配慮により、以下の修正を行った。／「九月ばかり」：原典P236L7～P237L2を採録し、「九月ばかり」と表題を付した。／「すさまじきもの」：原典P58L2～L8、P60L5～P61L14を採録し、「すさまじきもの」と表題を付した。／P58L2「すさまじきもの 昼ほゆる」→「すさまじきもの、昼ほゆる」／P60L11「いみじうねぶたし…」で改行した。／P61L1「轆に」→「轆も」／P61L6「夜より」→「宵より」／P61L7「え問ひだにも問はず」→「え問ひにだに問はず」／P61L14「いとをかし。すさまじげなり」→								

	「いとほしうすさまじげなり」／「中納言参り給ひて」：原典P196L2～L12を採録し、「中納言参り給ひて」と表題を付した。／「雪のいと高う降りたるを」：原典P433L6～P434L1を採録し、「雪のいと高う降りたるを」と表題を付した。／P433L9「人々も…」で改行した。／「宮に初めて参りたるころ」：原典P306L6～P308L2を採録し、「宮に初めて参りたるころ」と表題を付した。／P307L2「『かかる…おはしましけれ』」→「かかる…おはしましけれ」／P307L5「『いかで…られむ』」→「いかで…られむ」							
36	萩	写真						アマナ01701013907
37	網代	写真	「石山寺縁起絵巻」(模本)					東京国立博物館
45	「平家納経」法華経提婆達多品	写真						厳島神社／奈良国立博物館
46	平家物語	国語教材	新編日本古典文学全集46『平家物語2』			小学館	1994	(下欄参照)
	それぞれ、指導上の配慮により、以下の修正を行った。本文の前のあらすじの文章は、編集委員会で書き下ろした。／「忠度の都落ち」：原典P74L2～P77L8を採録し、「忠度の都落ち」と表題を付した。／P74L5「落人(おちうと)」→「落人(おちうど)」／P75L8「薩摩守…」で改行した。／「壇の浦の合戦」：原典P386L8～P390L4を採録し、「壇の浦の合戦」と表題を付した。／P387L7「給ひそ、」→「給ひそ。」／P388L16「ゑい」→「えい」／P389L6の小見出しを削除した。							
48	「平家物語絵巻」	写真						林原美術館
50	忠度の都落ち(延慶本)	国語教材	『校訂延慶本平家物語(七)』			汲古書院	2006	(下欄参照)
	指導上の配慮により、以下の修正を行った。／原典P134L1～P135L13を採録し、「忠度の都落ち(延慶本)」と表題を付した。／P134L1「皇大后宮」→「皇太后宮」／P134L8「アワレ」→「あはれ」／P134L9「切」→「功」／P135L2「候ワズ」→「候はず」／P135L2「ノゴイテ」→「のごひて」／P135L4「ヲサヘテ」→「おさへて」／P135L9「『忠度…アサカラズ。…ナレバ』」→「忠度…浅からず、…なれば」／P135L12「カワリ」→「変はり」							
53	壇の浦の合戦	写真	「安徳天皇縁起絵図」					赤間神宮
56	建礼門院右京大夫集	国語教材	新編日本古典文学全集47『建礼門院右京大夫集とはずがたり』		建礼門院右京大夫	小学館	1999	(下欄参照)
	指導上の配慮により、以下の修正を行った。／原典P107L5～P108L7、P111L5～P112L4を採録し、「この世のほかに」と表題を付した。／P107L6「あはれがりし。」→「あはれがりし、」／P111L9「『心地のわびしき』」→「心地のわびしき」／P111L10「『いかで物をも忘れむ』」→「いかでものをも忘れむ」／P111L13「限りある命にて、はかなく」→「『限りある命にて、はかなく。』」							
59	『方丈記』大福光寺本	写真						大福光寺
60	方丈記	国語教材	『新訂 方丈記』		鴨長明	岩波書店	1989	(下欄参照)
	それぞれ、指導上の配慮により、以下の修正を行った。／「安元の大火」：原典P10L9～P12L9を採録し、「安元の大火」と表題を付した。／P11L4「一夜(ひとよ)」→「一夜(いちや)」／P11L4「塵灰(ちりはひ)」→「塵灰(ちんくわい)」／P12L3「七珍万宝(しつちんまんぼう)」→「七珍万宝(しつちんまんぼう)」／P12L3「灰燼(くわいしん)」→「灰燼(くわいじん)」／P12L6「人のいとなみ…」で改行した。							

62	徒然草	国語教材	『新訂 徒然草』		兼好法師	岩波書店	1985	(下欄参照)
<p>それぞれ、指導上の配慮により、以下の修正を行った。／「悲田院の堯蓮上人は」：原典P247L4～P248 L3を採録し、「悲田院の堯蓮上人は」と表題を付した。／「侍(はんべ)」は全て「侍(はべ)」に改めた。／P247L10「すぐよかなる」→「すくよかなる」／「世に従はん人は」：原典P267L2～P268L3を採録し、「世に従はん人は」と表題を付した。／P267L3「但し、病を…」で改行した。／P267L12「生・老・病・死…」で改行した。／「あだし野の露消ゆる時なく」：原典P26L2～L11を採録し、「あだし野の露消ゆる時なく」と表題を付した。／「花は盛りに」：原典P231L3～P232L11を採録し、「花は盛りに」と表題を付した。／P232L1「望月の隈なきを…」で改行した。／P232L3「村雲(むらぐも)」→「群雲(むらくも)」／P232L7「よき人は…」で改行した。</p>								
68	「徒然草絵巻」	写真			海北友雪			サントリー美術館
69	兼好法師	写真			伝狩野探幽			神奈川県立金沢文庫
70	玉勝間	国語教材	日本思想大系40『本居宣長』		本居宣長	岩波書店	1978	(下欄参照)
<p>指導上の配慮により、以下の修正を行った。／読点を適宜句点に置き換え、文の区切れを示した。／引用部分はカギ括弧「」で括弧付した。／「兼好法師が詞のあげつらひ」：原典P135L15～P136L18を採録し、「兼好法師が詞のあげつらひ」と表題を付した。／P136L3「すべてなべての…」で改行した。／P136L9「又同じほうしの…」で改行した。／P136L15「人のまごゝろは…」で改行した。</p>								
73	藤原道綱母	写真	「百人一首画帖」		狩野探幽			平凡社
74	更級日記	国語教材	新日本古典文学大系24『土佐日記 蜻蛉日記 紫式部日記 更級日記』		菅原孝標女	岩波書店	1989	(下欄参照)
<p>それぞれ、指導上の配慮により、以下の修正を行った。／「門出」：原典P371L1～L14を採録し、「門出」と表題を付した。／「物語」：原典P385L1～P386L7を採録し、「物語」と表題を付した。／P385L4「『この源氏の…みな見せ給へ』と」→「この源氏の…みな見せ給へと」</p>								
75	「更級日記」	写真			佐多芳郎			大佛次郎記念館／佐多匡子
78	蜻蛉日記	国語教材	新日本古典文学大系24『土佐日記 蜻蛉日記 紫式部日記 更級日記』		藤原道綱母	岩波書店	1989	(下欄参照)
<p>指導上の配慮により、以下の修正を行った。／「なげきつつひとり寝る夜」：原典P46L4～P47L8を採録し、「なげきつつひとり寝る夜」と表題を付した。／P46L4「さて九月ばかりになりて」→「九月ばかりになりて」／P46L10「(十三)」→削除。／P47L2「かへりごと」→「返り事(こと)」／P47L6「さてもいと…」の前に1字下げを施した。</p>								
81	「源氏物語絵扇面散屏風」春	写真						浄土寺／村上宏治
82	源氏物語	国語教材	新編日本古典文学全集20『源氏物語1』		紫式部	小学館	1994	(下欄参照)
<p>それぞれ、指導上の配慮により、小見出しおよび小書きを削除するとともに、以下の修正を行った。本文の前後のあらすじの文章は、編集委員会で書き下ろした。／「光源氏の誕生」：原典P17L2～P19L3を採録し、「光源氏の誕生」と表題を付した。／P17L11「上</p>								

	達部、上人なども…」で改行した。／「若紫」：原典P205L11～P209L15を採録し、「若紫」と表題を付した。／P206L7「十ばかりやあらむ」→「十ばかりにやあらむ」／P207L10「つらつきいとらうたげにて…」の部分、改行せずに前行に続けた。／P208L4「たまへりぞかし」→「給へりしぞかし」							
83	「源氏物語図屏風」	写真			狩野氏信			個人蔵／堺市博物館
87	「源氏物語絵色紙帖」	写真			土佐光吉			京都国立博物館
91	安倍晴明	写真						晴明神社（京都市）
92	大鏡	国語教材	新編日本古典文学全集34 『大鏡』			小学館	1996	（下欄参照）
	それぞれ、指導上の配慮により、以下の修正を行った。／原典の小見出しおよび小書きを削除した。／各本文の前のあらすじを示した文章は、編集委員会で書き下ろした。／「雲林院の菩提講」：原典P13L2～P16L2を採録し、「雲林院の菩提講」と表題を付した。／発話部分は、改行せずに前行に続けた。／P13L4「『あはれに…さまかな』と」→「あはれに…さまかな、と」／P15L12「たれも、少し…」の部分、改行せずに前行に続けた。／「道真の左遷」：原典P74L4～P77L7、P77L15～P79L6を採録し、「道真の左遷」と表題を付した。／漢文の白文部分を削除した。／漢文は訓読文で示し、表記・読みは適宜改めた。／P74L9「大宰（だざいの）」→「大宰（ださいの）」／P78L3「詩ぞかし、」→「詩ぞかし。」／P78L9「また、かの筑紫にて」で改行した。／「花山天皇の出家」：原典P44L8～P48L1を採録し、「花山天皇の出家」と表題を付した。／P47L9「『御弟子にてさぶらはむ』と」→「御弟子にて候はむと」／P47L11「『もし…たまふ』と」→「もし…給ふと」／P47L15「『もし、おして…たてまつる』とて」→「もし、おして…奉るとて」／P48L1「一尺（ひとさく）」→「一尺」							
93	「大かゞみ絵詞」	写真						国立歴史民俗博物館
96	梅の花を見る道真	写真	「松崎天神縁起絵巻」					防府天満宮
99	香炉峰下、新ト山居草堂初成、偶題東壁	国語教材	四部叢刊『白氏長慶集』	87	白居易	上海商務印書館	1936	（下欄参照）
	指導上の配慮により、「香鑪峯」を「香炉峰」に改めた。／原典P87L23「可」を「何」に改めた。							
101	「大かゞみ絵詞」	写真						国立歴史民俗博物館
104	飛梅	写真						太宰府天満宮
105	「松崎天神縁起絵巻」	写真						防府天満宮
107	「古今和歌集序」（卷子本）	写真						大倉集古館
108	八代集の世界	国語教材	新日本古典文学大系 5、6、7、8、9、10、11 『古今和歌集』『後撰和歌集』 『拾遺和歌集』『後拾遺和歌集』 『金葉和歌集 詞花和歌集』 『千載和歌集』『新古今和歌集』			岩波書店	1989、 1990、 1990、 1994、 1989、 1993、 1992	（下欄参照）

	それぞれ、指導上の配慮により、以下の修正を行った。／『古今』404歌：「貫之」→「紀貫之」／『古今』553歌：「題知らず」という詞書、「小野小町」という作者名を付した。／『後撰』510歌：「『返事見む』」→「返り事見む」／『後拾遺』518歌：「能因法師」という作者名を付した。／『千載』1066歌：「円位法師」という作者名を付した。／『新古今』671歌：「定家朝臣」→「藤原定家朝臣」							
114	天徳四年内裏歌合	国語教材	日本古典文学大系74 『歌合集』			岩波書店	1965	(下欄参照)
	指導上の配慮により、以下の修正を行った。／原典P88L2～L10を採録し、「天徳四年内裏歌合」と表題を付した。／P88L2「左…」で改行した。／P88L6～は書き下し文の形にした。／原典P88L6「少臣」→「小臣」／原典P88L6「ト、」→「と。」／P88L8「少臣」→「小臣」							
115	六百番歌合	国語教材	新日本古典文学大系38 『六百番歌合』			岩波書店	1998	(下欄参照)
	指導上の配慮により、以下の修正を行った。／原典P186L15～P187L9を採録し、「六百番歌合」と表題を付した。／P187L4「草の原」、聞きよからず。」→「『草の原』、聞きよからず。」／P187L4「左方…」で改行した。／P187L5「判…」で改行した。／P187L5「左、…べし。」→「『左、…べし。』」／P187L6「難申之条」→「難じ申す条」							
117	古今和歌集仮名序	国語教材	新日本古典文学大系5 『古今和歌集』		紀貫之	岩波書店	1989	(下欄参照)
	指導上の配慮により、以下の修正を行った。／原典P4L1～6、P13L4～P15L5を採録し、「古今和歌集仮名序」と表題を付した。／P13L6「浅緑…落ちて詠める、」を削除した。／P13L12「おほかたは…成り増さるかな。」を削除した。／P14L2「萎(しほ)る」→「しをる」／P14L3「深草の…あらぬ。」を削除した。／P14L14「色見えで…著しも。」を削除した。／P15L4「思出でて…知らずや。」を削除した。							
118	「六歌仙図」	写真			菱田春草			永青文庫
120	近代秀歌	国語教材	新編日本古典文学全集87 『歌論集』		藤原定家	小学館	2002	(下欄参照)
	指導上の配慮により、以下の修正を行った。／原典P451L12～P452L12を採録し、「近代秀歌」と表題を付した。／P451L12「寛平(くわんべい)」→「寛平(くわんぴやう)」／P451L16「かの本歌を…」で改行した。／P452L2「五七の句は…」で改行した。／P452L9「次に、…」で改行した。							
120	藤原定家	写真	「新三十六歌仙図帖」		狩野探幽			東京国立博物館
122	梁塵秘抄	国語教材	新日本古典文学大系56 『梁塵秘抄 閑吟集 狂言歌謡』			岩波書店	1993	(下欄参照)
	それぞれ、指導上の配慮により、読点を削除するとともに、以下の修正を行った。／原典P13L2～3、P102L1～2を採録し、「梁塵秘抄」と表題を付した。／P13L2「人の音…」で改行した。／P102L1「遊ぶ…」で改行した。							
123	閑吟集	国語教材	新日本古典文学大系56 『梁塵秘抄 閑吟集 狂言歌謡』			岩波書店	1993	(下欄参照)

	それぞれ、指導上の配慮により、以下の修正を行った。／原典P204L1、P245L1、P246L1を採録し、「閑吟集」と表題を付した。／P204L1「一期…」で改行した。							
124	一天に…	国語教材	『おもろさうし(上)』	265		岩波書店	2000	
124	及ばらぬとめば…／恩納岳あがた…	国語教材	鑑賞 日本古典文学第25巻『南島文学』	123、111		角川書店	1976	
125	「駿河町之図」	写真			歌川広重			国立国会図書館
126	世間胸算用	国語教材	新編日本古典文学全集68『井原西鶴集3』		井原西鶴	小学館	1996	(下欄参照)
	指導上の配慮により、以下の修正を行った。／原典P408L10～P413L17を採録し、「小判は寝姿の夢」と表題を付した。／P410L6「替らずば」→「変はずは」／P411L6「まで。」→「まで、」／P413L1「『我大分の…置きしが』棚の」→「我大分の…置きしが、棚の」							
128	小判は寝姿の夢	写真						早稲田大学図書館
131	和歌というメディア	国語教材	『心づくしの日本語——和歌でよむ古代の思想』		ツベタナ・クリステワ	筑摩書房	2011	(下欄参照)
	指導上の配慮により、以下の修正を行った。／原典P42L2～8、P55L9～P61L4を採録し、「和歌というメディア」と表題を付した。／P42L4「こうした…つもりはない。」を省略した。／P42L5「ただ」→「しかし」／P55L9「歌を」→「古代びとにとって歌を」／P56L3「困るという。」→「困るというのだ。」／P56L4「『枕草子』では、」→「『枕草子』で」／P56L5「『古今集』」→「『古今和歌集』」／P56L12「W・ブレイク(一七五七—一八二七)」→「W・ブレイク」／P57L12「『古今集』」→「『古今和歌集』」／P58L1「だろうか。」→「だろうか。》」／P59L3「知的活動の中心としての和歌」を省略した。／P59L4「前に引用したユーリ・ロトマン」→「ユーリ・ロトマン」／P59L15「求められているのは」→「求められるのは」／P60L6「近代以前の」→「平安時代の」／P60L8「和歌とやまと言葉の…古代日本文化が」→「平安時代の日本文化が」／P60L9「あいだにも」→「間には」／P60L9「あるといえる。つまり、和歌が」→「ある。和歌が」／P60L13「こうして、和歌は、テーマが…とはいえ、表現力を」→「つまり和歌は、表現力を」／P61L1「つまり、和歌は、…なったわけである。」を省略した。／P61L2「こうした…」の部分を、改行せずに前行に続けた。							
135	ツベタナ・クリステワ	写真						ツベタナ・クリステワ
137	「伴大納言絵巻」	写真						出光美術館
138	宇治拾遺物語	国語教材	新日本古典文学大系42『宇治拾遺物語 古本説話集』			岩波書店	1990	(下欄参照)
	指導上の配慮により、以下の修正を行った。／原典P242L2～P245L10を採録し、「伴大納言、応天門を焼くこと」と表題を付した。／P242L2「水尾(みのを)の御門」→「水尾(みづのを)の帝」／P242L7「この事申。『人の…べきなり。』」→「『このこと、申す人の…べきなり。』」／P243L10「『なにわぎして…あらん』と」→「何わぎして…あらむと」／P243L14「『このありつる…たりけるなり』と」→「このありつる…たりけるなりと」／P244L1「『あはれ…いみじき事かな』と」→「あはれ…いみじき事かなと」／P244L3「かくて…」で改行した。／P244L5「かかるほどに…」の部分を、改行せずに前行に続けた。／P244L8「『我子も人の子も…いさかひなり。…悪しき事なり』と」→「わが子も人の子も…いさかひなり、…悪しきことなりと」／P244L14「主(しう)」→「主							

	(しゆう)」／P245L2「『いかにいふ事にかあらん』と」→「いかに言ふことにかあらむと」							
138	「伴大納言絵巻」	写真						出光美術館
144	発心集	国語教材	新潮日本古典集成 『方丈記 発心集』		鴨長明	新潮社	1976	(下欄参照)
	指導上の配慮により、以下の修正を行った。／原典P148L11～P151L3を採録し、「蓮花城、入水のこと」と表題を付した。／P149L13「『年ごろ見なれたりつるものを』」→「年ごろ見慣れたりつるものを」／P150L7「云ひかひなき」→「いひがひなき」／P150L12「『あはれ、ただ今制し給へがし』と」→「あはれ、ただ今制し給へかし、と」							
147	中宮彰子と紫式部	写真	「紫式部日記絵詞」					個人蔵
148	紫式部日記	国語教材	新日本古典文学大系24 『土佐日記 蜻蛉日記 紫式部日記 更級日記』		紫式部	岩波書店	1989	(下欄参照)
	それぞれ、指導上の配慮により、以下の修正を行った。／「女郎花」：原典P254 L8～P255L8を採録し、「女郎花」と表題を付した。／「日本紀の御局」：P314L4～P315L12を採録し、「日本紀の御局」と表題を付した。／P314L5「内裏の上の…」で改行した。／P314L6「読みたるべけれ」→「読み給ふべけれ」／P314L8「才がる」→「才ある」／P314L11「丞(ぜう)」→「丞(じよう)」／P314L13「幸(さいわみ)」→「幸ひ」							
148	女郎花	写真						アマナイメーجز 28142000877
152	和泉式部日記	国語教材	新編日本古典文学全集26 『和泉式部日記 紫式部 日記 更級日記 讃岐典 侍日記』		和泉式部	小学館	1994	(下欄参照)
	それぞれ、指導上の配慮により、小見出しおよび小書きを削除するとともに、以下の修正を行った。本文の前のあらすじの文章は、編集委員会で書き下ろした。／「夢よりもはかなき世の中を」：原典P17L1～P19L5を採録し、「夢よりもはかなき世の中を」と表題を付した。／P18L8「『なにかは、…ことをも』」→「何かは、…ことをも」							
155	十六夜日記	国語教材	新編日本古典文学全集48 『中世日記紀行集』			小学館	1994	(下欄参照)
	指導上の配慮により、以下の修正を行った。本文の前のあらすじの文章は、編集委員会で書き下ろした。／「駿河路」：原典P281L8～P282L2、P283L4～L15を採録し、「駿河路」と表題を付した。							
157	伊勢物語	国語教材	新日本古典文学大系17 『竹取物語 伊勢物語』			岩波書店	1997	(下欄参照)
	指導上の配慮により、以下の修正を行った。／原典P88L6～P89L3を採録し、「東下り」と表題を付した。							
159	「源氏物語絵色紙帖」	写真						京都国立博物館
160	源氏物語	国語教材	新編日本古典文学全集 20、21、23、24、25 『源氏物語1』『源氏物		紫式部	小学館	1994、 1995、 1996、	(下欄参照)

			語2』『源氏物語4』『源氏物語5』『源氏物語6』				1997、 1998	
	<p>それぞれ、指導上の配慮により、小見出しおよび小書きを削除するとともに、以下の修正を行った。各本文の前後や省略部分のあらすじを示した文章は、編集委員会で書き下ろした。／「なにがしの院」：原典『新編日本古典文学全集20』P164L1～P168L4を採録し、「なにがしの院」と表題を付した。／P165L6「風すこしうち吹き…」で改行した。／「野宮の別れ」：原典『新編日本古典文学全集21』P85L2～P86L5、P87L5～P90L3を採録し、「野宮の別れ」と表題を付した。／P90L3「女もえ心強からず、…」の部分の改行せずに、前行に続けた。／「須磨の秋」：『新編日本古典文学全集21』P198L13～P199L11、P200L14～P203L10を採録し、「須磨の秋」と表題を付した。／P198L14「関吹き越ゆる」→「『関吹き越ゆる』」／P202L13「二千里外故人心（じせんりのほかこじんのところ）」→「二千里（じせんり）の外（ほか）の故人（こじん）の心（心）」／P202L13「誦（ず）じ」→「誦（ずん）じ」／「夜深き鶏の声」：原典『新編日本古典文学全集23』P63L11～P65L11、P67L14～P69L3を採録し、「夜深き鶏の声」と表題を付した。／「唐猫の綱」：原典『源氏物語23』P140L5～P142L11を採録し、「唐猫の綱」と表題を付した。／「萩の上露」：原典『新編日本古典文学全集23』P504L10～P506L8を採録し、「萩の上露」と表題を付した。／「宇治の姫君たち」：原典『新編日本古典文学全集24』P135L8～P137L7、P139L5～P140L14を採録し、「宇治の姫君たち」と表題を付した。／「橘の小島」：原典『新編日本古典文学全集25』P148L12～P151L15を採録し、「橘の小島」と表題を付した。／P150L7「あやし、」→「あやし。」</p>							
160	「源氏物語手鑑」	写真			土佐光吉			和泉市久保惣記念美術館
163	『絵入源氏物語』	写真						国文学研究資料館
165	「源氏物語手鑑」	写真			土佐光吉			和泉市久保惣記念美術館
166	榊	写真						NNP 0045A 06834
172	「源氏物語手鑑」	写真			土佐光吉			和泉市久保惣記念美術館
176	六条院模型	写真						宇治市源氏物語ミュージアム
178	「源氏物語絵色紙帖」	写真			土佐光吉			京都国立博物館
182	「源氏物語絵巻」御法	写真						五島美術館
184	高麗の相人から予言を受ける光源氏	写真	「源氏物語絵色紙帖」		土佐光吉			京都国立博物館
185	密通により生まれた薫を抱く光源氏	写真	「源氏物語絵巻」 柏木(三)					徳川美術館
188	「源氏物語絵巻」橋姫	写真						徳川美術館
193	「源氏物語図屏風」	写真			土佐光吉			メトロポリタン美術館
195	竜頭鶴首を眺める藤原道長	写真	「紫式部日記絵詞」					藤田美術館

196	大鏡	国語教材	新編日本古典文学全集34 『大鏡』			小学館	1996	(下欄参照)
<p>それぞれ、指導上の配慮により、以下の修正を行った。／原典の小見出しおよび小書きを削除した。／各本文の前のあらすじを示した文章は、編集委員会で書き下ろした。／「三船の才」：原典P115L11～P116L13を採録し、「三船の才」と表題を付した。／P116L4「よみたまへるぞかし、」→「詠み給へるぞかし。」／「肝試し」：原典P317L10～P321L9を採録し、「肝試し」と表題を付した。／P318L6「花山院の御時に…」で改行した。／P319L12「『子四つ』…」で改行した。／P321L5「なほ、うたがはしく…」で改行した。／「道長、伊周の競射」：原典P324L14～P326L7を採録し、「道長、伊周の競射」と表題を付した。／P325L1「饗応(きやうよう)」→「饗応(きやうおう)」／原典P273L2～P274L8までを採録し、「隆家と道長」と表題を付した。／P274L1「『こと出できなむず。いみじきわざかな』と」→「事出で来なむず、いみじきわざかなと」／P274L2「たまたて」→「給うて」／P274L5「たまたて」→「給うて」／P274L7「たまける」→「給うける」</p>								
197	「大堰川舟遊図屏風」	写真						泉涌寺
200	「大かゞみ絵詞」	写真						国立歴史民俗博物館
204	「大かゞみ絵詞」	写真						国立歴史民俗博物館
206	枕草子	国語教材	新編日本古典文学全集18 『枕草子』		清少納言	小学館	1997	(下欄参照)
<p>指導上の配慮により、以下の修正を行った。／原典P446L5～P448L7を採録し、「大納言殿参り給ひて」と表題を付した。／P446L11「『うたて…申しつらむ』と」→「うたて…申しつらむと」</p>								
208	「大かゞみ絵詞」	写真						国立歴史民俗博物館
210	『小右記』（内閣文庫本）寛仁二年十月十六日	写真	小右記（内閣文庫本）寛仁二年十月十六日					国立公文書館
210	『御堂関白記』（陽明文庫本）寛仁二年十月十六日	写真	御堂関白記（陽明文庫本、古写本）寛仁二年十月十六日					陽明文庫
211	17世紀後半の京都の劇場	写真	「都万太夫座歌舞伎図屏風」					早稲田大学演劇博物館
212	俊頼髓脳	国語教材	冷泉家時雨亭叢書第79巻 『俊頼髓脳』		源俊頼	朝日新聞社	2008	(下欄参照)
<p>原典をもとに編集委員会で校訂を行い、本文を作成した。</p>								
214	無名抄	国語教材	鴨長明全集		鴨長明	貴重本刊行会	2000	(下欄参照)
<p>指導上の配慮により、以下の修正を行った。／原典P89下段L1～P90上段L9を採録し、「おもて歌のこと」と表題を付した。／P89下段L1「俊恵云」→「俊恵言はく」／P89下段L1「五条三位入道…とぞ侍りし」、P89下段L16「かの哥は、…なりぬるなり」、P90上段L4「わが哥の…かたり給へ」はカギ括弧で括った。また、P89下段L2「御詠の…うけ給はらん」、P89下段L5「ゆふされば…おもひ給ふる」、P89下段L8「世あまねく…いかに」、P89下段L11「いさ、…いふくらぶべからず」、P89下段L16「身にしみて」、P90上段L8「かくこそいひしか」は二重カギ括弧で括った。／P89下段L1「までたりし」→「まうでたりし」／P89下段L6「うづら…」の部分、改行</p>								

	せずに前行に続けた。／P89下段L8「俊恵又云」→「俊恵また言はく」／P89下段L10「いくへ…」の部分を、改行せずに前行に続けた。／P89下段L12「なを」→「なほ」／P89下段L15の見出しを削除したうえで、L16「かの哥は…」の部分を改行せずに前行に続けた。／P89下段L19「いふ」→「優」／P90上段L3の見出しを削除したうえで、L4「そのつみでに…」の部分を改行せずに前行に続けた。／P90上段L6「ふもとの…」の部分を、改行せずに前行に続けた。							
216	正徹物語	国語教材	『歌論歌学集成 第十一卷』		正徹	三弥井書店	2001	(下欄参照)
	指導上の配慮により、以下の修正を行った。／原典P147L4～P148L4を採録し、「ひとり雨聞く秋の夜すがら」と表題を付した。／P147L5「「ひとり雨聞く…」で改行した。／P147L5「上句」→「上の句」／P147L12「上句」→「上の句」／P147L13「杜子美が詩…」で改行した。／P147L14「聞雨寒更尽、開門落葉深」には一部に返り点を付した。／P147L16「「聞レ雨」→「雨を聞きて」／P147L16「天地(ノ)別」→「天地の別(べち)」／P148L1「「雨と)」→「「雨と)と」							
218	無名草子	国語教材	新編日本古典文学全集40 『松浦宮物語 無名草子』			小学館	1999	(下欄参照)
	指導上の配慮により、以下の修正を行った。／「清少納言」：原典P266L12～P268L7を採録し、「清少納言」と表題を付した。／P266L15「中関白(なかのくわんぱく)」→「中関白(なかのくわんぱく)」							
220	源氏物語玉の小櫛	国語教材	『本居宣長全集第四卷』		本居宣長	筑摩書房	1969	(下欄参照)
	指導上の配慮により、以下の修正を行った。／原典P198L9～P199L5を採録し、「もののあはれの論」と表題を付した。／P198L10「おほきぞかし、」→「多きぞかし。」／P198L12「もの也、源氏」→「ものなり。(改行)源氏」／P198L17「けぢめ也、さりとて」→「けぢめなり。(改行)さりとて」／P198L17「あらず、」→「あらず。」／P198L19「べきにあらず物語は」→「べきにあらず。(改行)物語は」／P199L1「あらず、」→「あらず。」／P199L3「したる也、此」→「したるなり。(改行)この」／P199L4「ごとし、」→「ごとし。」／P199L5「料ぞかし、」→「料ぞかし。」							
223	花鏡	国語教材	新編日本古典文学全集88 『連歌論集 能楽論集 俳論集』		世阿弥	小学館	2001	(下欄参照)
	指導上の配慮により、以下の修正を行った。／原典P333L12～P334L12を採録し、「初心を忘るべからず」と表題を付した。／P334L5「忘れずば」→「忘れずは」／P334L5「正しくば」→「正しくは」／P334L9「『これは…分なり。…忘れじ』」→「これは…分なり、…忘れじ」							
225	虚実皮膜論	国語教材	日本古典文学大系50 『近松浄瑠璃集 下』		穂積以貫	岩波書店	1959	(下欄参照)
	指導上の配慮により、以下の修正を行った。／原典P358L9～P359L16を採録し、「虚実皮膜論」と表題を付した。／発話部分(P358L10「今時の…取らず。」・P358L13「この論…おほし。」)はカギ括弧「」で括った。／P358L13「近松答云…」で改行した。／P359L1「生(はへ)」→「生え」／P359L3「是に付て…それ故に」を省略した。／P359L13「畫そらごとゝて…」で改行した。							
227	落窪の君	写真	「落窪物語絵巻」					日本大学総合学術情報センター
228	落窪物語	国語教材	新日本古典文学大系18			岩波書店	1989	(下欄参照)

			『落窪物語 住吉物語』					
	指導上の配慮により、以下の修正を行った。本文の前後のあらすじの文章は、編集委員会で書き下ろした。／発話部分は、改行せずに前行に続けた。／「姫君の苦難」：原典P69L7～P71L12を採録し、「姫君の苦難」と表題を付した。／P69L12「いづこなりし。木丁」→「いづこなりし几帳」／P69L16「なりぬ。例の」→「なりぬれば、果ての」／P70L1「少将、おちくぼ…」の部分、改行せずに前行に続けた。／P70L7「おはしすべき」→「おはしますべき」							
231	堤中納言物語	国語教材	新日本古典文学大系26 『堤中納言物語 とりかへばや物語』			岩波書店	1992	(下欄参照)
	指導上の配慮により、以下の修正を行った。本文の前や省略部分のあらすじを示した文章は、編集委員会で書き下ろした。／原典P13L5～P14L1、P15L10～P17L2を採録し、「このついで」と表題を付した。／P14L1「みられにしと。」→「みられにし、と。』」／P15L10「おば」→「をば」／P15L10「侍(はむべ)りし」→「侍(はべ)りし」／P15L12「『まぎらはし…しのぶにや』」→「まぎらはし…忍ぶにや」							
232	火取り	写真						風俗博物館
235	とりかへばや物語	国語教材	新編日本古典文学全集39 『住吉物語 とりかへばや物語』			小学館	2002	(下欄参照)
	指導上の配慮により、以下の修正を行った。／原典P165L1～P166L2、P166L8～P168L13を採録し、「人知れぬもの思ひ」と表題を付した。／P167L7「雛(ひいな)」→「雛(ひひな)」							
239	「旅路の画卷」	写真			芭蕉			柿衛文庫
239	「鳶鳥図」	写真			蕪村			北村美術館
240	芭蕉	国語教材	『新編芭蕉大成』		松尾芭蕉	三省堂	1999	(下欄参照)
	それぞれ、指導上の配慮により、以下の修正を行った。本文の前のあらすじを示した文章は、編集委員会で書き下ろした。／「富士川」：原典P323中段L18～下段L9を採録した。／「吉野の花」：原典P332下段L1～L11、P333上段L25～中段L7を採録した。							
243	蕪村	国語教材	『蕪村全集 第四卷 俳詩・俳文』		与謝蕪村	講談社	1994	(下欄参照)
	それぞれ、指導上の配慮により、以下の修正を行った。／「月夜の卯兵衛」：原典P84L3～L10を採録し、「月夜の卯兵衛」と表題を付した。／「歳末弁」：原典P163L7～L14を採録し、「歳末弁」と表題を付した。／P163L11「としくれぬ…」で改行し、二字下げとした。／P163L11「片隅に…」で改行した。							
245	去来抄	国語教材	『新編芭蕉大成』		向井去来	三省堂	1999	(下欄参照)
	それぞれ、指導上の配慮により、以下の修正を行った。／「行く春を…」：原典P588上段L21～中段L7を採録した。／P588上段L21「はせを」→「芭蕉(ばせう)」／P588上段L22「尚白が難に、「近江」ハ「丹波」にも、「行春」ハ「行歳」にも振るべし…侍るや。」→「尚白が難に、『近江は丹波にも、行く春は行く年にもふるべし。』…侍るや。」／P588上段L24「尚白が…侍る」→「『尚白が…侍る。』」／P588中段L1「しかり…物を。」→「『しかり…ものを。』」／P588中段L2「此一言…成哉」→「この一言…なるかな。』」／P588中段L6「汝は去来…もの也」→「『去来、汝は…者なり。』」／「岩鼻や…」：P591下段L1～下段L16を採録した。／P591下段L1「酒堂…侍るや。」→「『酒堂…侍るや。』」／P591下段L4「猿」とは…るや。」→「『猿』とは…るや。」							

	<p>／P591下段L5「明月…たる」→「『明月…たる。』」／P591下段L7〈「ここに…ける〉→〈「『ここに…ける。』〉／P591下段L11「予ガ趣向…有にや。」を省略した。／P591下段L13「(退て…ざりけり。)」→「退いて…ざりけり。」／P591下段L13「退て…」で改行した。／「腫物に…」：原典P596下段L10～P597上段L6を採録した。／原典P596下段L11「浪花集」→「『浪花集』」／原典P596下段L12「小文庫」→「『小文庫』」／原典P596下段L13「支考…」で改行した。／原典P596下段L13〈「さはる柳…侍るや。〉→〈「『さはる柳』…侍るや。』〉／原典P596下段L14〈「さはる柳…いかに。〉→〈「『さはる柳』…いかに。』〉／原典P596下段L15「柳の…也。」→「『柳の…なり。』」／原典P596下段L16「しからず…たゞす。」→「『しからず…ただす。』」／原典P596下段L17「直(じき)」→「直(ぢき)」／原典P596下段L19「吾子…べし。」→「『吾子…べし。』」／原典P596下段L20「丈艸…」で改行した。／原典P596下段L20「詞の…ならん。」→「『言葉の…ならん。』」／原典P596下段L21「流石…也」→「『さすが…なり。』」／原典P596下段L24「許六…」で改行した。／原典P596下段L25「先師…也。」→「『先師…なり。』」／原典P597上段L1「首切…也。」→「『首切れ…なり。』」／原典P597上段L3「先師…がたし」→「『先師…難し。』」／原典P597上段L5「三子…」で改行した。</p>							
249	三冊子	国語教材	『新編芭蕉大成』		服部土芳	三省堂	1999	(下欄参照)
	<p>指導上の配慮により、以下の修正を行った。／原典P730中段L1～中段L8、P737中段L22～下段L15を採録した。／原典P730中段L3「花に…」で改行した。／原典P730中段L3「餅に…先」→「『餅に…先』」／原典P730中段L5「飛…音」→「『飛…音』」／原典P730中段L7「見るに…」で改行した。／原典P730中段L7「聞に有。」→「聞くにあり、」／原典P737中段L24「一(い)つ」→「一つ」／原典P737中段L24「一(いつ)」→「一つ」／原典P737下段L5「又、…」で改行した。／原典P737下段L6「あらたまらず、」→「改まらず。」／原典P737下段L12「行末…」で改行した。／原典P737下段L13「かりにも…ごとし」→「『仮にも…ごとし。』」</p>							
251	「市中は」歌仙	国語教材	『新編芭蕉大成』			三省堂	1999	(下欄参照)
	<p>指導上の配慮により、以下の修正を行った。／原典P254中下段L5～下段L9、P255上段L8～上段L18を採録した。／P254中下段L8「兆」→「凡兆」／P254中下段L9「蕉」→「芭蕉」／P255上段L8「蕉」→「芭蕉」／P255上段L9「来」→「去来」／P255上段L10「兆」→「凡兆」／P255上段L11「蕉」→「芭蕉」</p>							
253	酒折の宮	写真						酒折宮
254	古事記	国語教材	新編日本古典文学全集1 『古事記』			小学館	1997	(下欄参照)
	<p>指導上の配慮により、小見出しを削除するとともに、以下の修正を行った。本文の前や省略部分のあらすじを示した文章は、編集委員会で書き下ろした。／原典P227L3～P229L9、P231L4～L15、P233L13～P235L15、P237L5～L8を採録し、「倭建命」と表題を付した。／以下の箇所の前1字下げを削除した。P227L14「故、七日の後に」、P229L6「爾くして」、P229L9「是を以て」、P233L17「又、歌ひて曰はく」、P234L20「此の歌は、思国歌ぞ。」、P235L3「此は、片歌ぞ。」、同L7「歌ひ竟りて」／P231L10「使者ぞ」→「使者そ」／P231L12「〈此の白き猪と化れるは…惑はさえしぞ〉」を削除した。／P234L20「思国歌ぞ」→「思国歌そ」／P235L3「片歌ぞ」→「片歌そ」</p>							
259	万葉秀歌	国語教材	新日本古典文学大系 1、2、4 『萬葉集 一』『萬葉集 二』『萬葉集 四』			岩波書店	1999、 2000、 2003	(下欄参照)
	<p>指導上の配慮により、以下の修正を行った。／141歌：「結びし歌二首」→「結びし歌」／270歌：「羈旅の歌八首」→「羈旅の歌」</p>							

	／1424 歌：「赤人の歌四首」→「赤人の歌」／822 歌：「梅花の歌」を付した。／「主人」→削除／4291 歌：「二十三日、興に依りて作りし歌」を付した。							
260	安騎野（奈良県）	写真						アマナイメージズ 25467007710
263	『雨月物語』版本と挿絵	写真						早稲田大学図書館
264	雨月物語	国語教材	『上田秋成全集 第七卷』		上田秋成	中央公論社	1990	（下欄参照）
	指導上の配慮により、以下の修正を行った。／原典P247L3～P248L7・P251L11～P255L1を採録し、「浅茅が宿」と表題を付した。／本文の後および省略部分のあらすじを示した文章は、編集委員会で書き下ろした。／句点を適宜読点に置き換えた。／発話部分はカギ括弧「」で括った。／P247L3「下総（しもをさ）」→「下総（しもふさ）」／P247L9「買（かい）」→「買ひ」／P248L1「勝四郎が妻…」で改行した。／P248L4「はかり」→「ばかり」／P248L7「東（あつま）」→「東（あづま）」／P251L11「此時日ははや…」で改行した。／P252L1「二十歩（ほ）」→「二十歩（ぶ）」／P252L2「聳（そひ）」→「聳（そび）」／P252L4「躁（さはが）」→「さわが」／P252L8「勝四郎も心くらみて…」で改行した。／P252L9「など」→「など」／P252L9「兵（へう）」→「兵（ひやう）」／P252L9「潰（ついえ）」→「潰（つひ）え」／P252L10「管領（くはんれい）」→「管領（くわんれい）」／P253L1「灰（くはい）」→「灰（くわい）」／P253L3「漢宮（かんきう）」→「漢宮（かんきゆう）」／P253L4「妻涙をとどめて…」で改行した。／P253L9「鶴鷗（ふくろう）」→「梟（ふくろふ）」／P253L11「窓の紙…」で改行した。／P253L12「帔（かづき）ん」→「被（かづ）かん」／P254L3「さてしも…」で改行した。／P254L10「しるさて」→「記さで」／P254L13「こゝにはじめて…」で改行した。							
265	勝四郎の旅立ち	写真			森田曠平			個人蔵
268	勝四郎の帰郷	写真			森田曠平			個人蔵
273	『百人一首像讃抄』（菱川師宣画）	写真						跡見学園女子大学図書館
274	「光琳かるた」（復刻）	写真						大石天狗堂
274	奥山に…	国語教材	新編国歌大観 第五卷	933		角川書店	1987	
274	「紅葉踏み分け」とは、…	国語教材	契沖全集 第九卷		契沖	岩波書店	1974	（下欄参照）
	指導上の配慮により、以下の修正を行った。／原典P680L17～P681L1を採録した。／P680L17「もみち踏分」→「『紅葉踏み分け』」／P680L17「秋山…タリ。…ユ。…来テ…猶冷マシ」→「『秋山…たり、…ゆ、…来たりて…猶ほ冷まじ』」／P680L18「勝地尋來」→「『勝地尋ね来たりて』」							
275	「踏み分け」は、…	国語教材	賀茂真淵全集 第十二卷		賀茂真淵	続群書類従完成会	1987	（下欄参照）
	指導上の配慮により、以下の修正を行った。／原典P19L1～L2を採録した。／P19L1「ふみわけ」→「『踏み分け』」／P19L2「すなほなる、」→「素直なる。」							
275	人の踏み分くるならん	国語教材	百人一首注釈叢刊19		香川景樹	和泉書院	1999	（下欄参照）

	には、…		『百首異見 百首要解』					
	指導上の配慮により、以下の修正を行った。／原典P24L18～P25L1を採録した。／P24L18「奥山の」→「『奥山の』」／P24L18「爾」→「『に』」							
276	この「紅葉踏み分け」と…	国語教材	契沖全集 第九巻		契沖	岩波書店	1974	(下欄参照)
	指導上の配慮により、以下の修正を行った。／原典P68L1～L2、L4～L6を採録した。／P68L1「もみちふみ分」→「『紅葉踏み分け』」／P68L4「古今に…」で改行した。／P68L4「古今」→「『古今』」							
276	「奥山」とあるによりて、…	国語教材	賀茂真淵全集 第十二巻		賀茂真淵	続群書類従完成会	1987	(下欄参照)
	指導上の配慮により、以下の修正を行った。／原典P18L17、P19L4～L6を採録した。／P18L17「おく山」→「『奥山』」／P18L17「なづめり、」→「なづめり。」／P19L4「此歌…」で改行した。／P19L5「たる也、」→「たるなり。」／P19L6「へし、」→「べし。」							
276	この「声聞く時ぞ」と…	国語教材	百人一首注釈叢刊19 『百首異見 百首要解』		香川景樹	和泉書院	1999	(下欄参照)
	指導上の配慮により、以下の修正を行った。／原典P24L11～L12、L13～L14を採録した。／P24L11「声きく時そ」→「『声聞く時ぞ』」／P24L11「時」→「『時』」／P24L13「紅葉ふみ…」で改行した。／P24L13「紅葉ふみ分」→「『紅葉踏み分け』」							
277	54 忘れじの…	国語教材	百人一首注釈叢刊19 『百首異見 百首要解』		香川景樹	和泉書院	1999	(下欄参照)
	指導上の配慮により、以下の修正を行った。／原典P131L9～L15、P132L7～L10、L13～L16を採録した。／P131L9「儀同三子母（改行）54 わすれ…」→「54 忘れ… 儀同三子母」／P131L10「新古今集。恋三。中関白…ころ」→「『新古今集』恋三、『中関白…ころ』」／P131L10「わすれ…」で改行した。／P131L10「わすれし」→「『忘れじ。』」／P131L11「あれかし。」→「あれかし、」／P132L7「改観」→「『改観』」／P132L7「只今…いへり」→「『ただ今…いへり。』」／P132L13「初学」→「『初学』」／P132L13「只今…也」→「『ただ今…なり。』」／P132L13「まで思ふ」→「『まで思ふ』」／P132L10「まで思ふ」→「『まで思ふ』」							
278	「光琳かるた」（復刻）	写真						大石天狗堂
278	春過ぎて…	国語教材	新編国歌大観 第五巻	933		角川書店	1987	
278	ちはやぶる…	国語教材	新編国歌大観 第五巻	933		角川書店	1987	
278	住の江の…	国語教材	新編国歌大観 第五巻	933		角川書店	1987	
278	恨みわび…	国語教材	新編国歌大観 第五巻	934		角川書店	1987	
278	瀬をはやみ…	国語教材	新編国歌大観 第五巻	934		角川書店	1987	「崇徳院御製」→「崇徳院」
278	長からむ…	国語教材	新編国歌大観 第五巻	934		角川書店	1987	
279	真草千字文	写真			近衛家熙			東京国立博物館 B-3285
280	不死之薬	国語教材	四部叢刊 『韓非子』説	37	韓非	上海商務印書	1936	(下欄参照)

			林上			館		
	指導上の配慮により、「…臣問謁者。」のあとの「曰、『可食。』」を「謁者曰、『可食。』」とした。							
282	先従隗始	国語教材	漢文大系 『十八史略』 卷之一	85	曾先之	富山房	1911	(下欄参照)
	指導上の配慮により、採録部分冒頭に、「昭王招賢者」の文を補った。							
284	完璧而帰	国語教材	漢文大系 『十八史略』 卷之一	69	曾先之	富山房	1911	(下欄参照)
	指導上の配慮により、以下の訂正を行った。 ・採録部分冒頭を「恵文」→「趙恵文王」とした。／「…願奉璧往。」のあとに「曰、」を補った。							
285	璧	写真						C. P. C YS-12399
286	漱石枕流	国語教材	四部叢刊 『世説新語』	127	劉義慶	上海商務印書館	1936	
288	江雪	国語教材	『唐詩三百首』 卷七	7	柳宗元	香港商務印書館	1961	
289	勸酒	国語教材	漢文大系2 『箋注唐詩選』 卷之六	29	于武陵	富山房	1910	
289	[参考] 勸酒	国語教材	『厄除け詩集』	45	井伏鱒二	筑摩書房	1977	
289	磧中作	国語教材	漢文大系二 『箋注唐詩選』 卷之七	28	岑参	富山房	1910	
290	江南春	国語教材	漢文大系2 『三体詩』 卷之一	5	杜牧	富山房	1911	
290	杜少府之任蜀州	国語教材	『唐詩三百首』 卷五	2	王勃	香港商務印書館	1961	
291	黄鶴楼	国語教材	『唐詩三百首』 卷六	1	崔顥	香港商務印書館	1961	
293	聞旅雁	国語教材	日本古典文学大系72 菅家文草 菅家後集	483	菅原道真	岩波書店	1966	(下欄参照)
	原典P483L10「敬」を「敬」に改めた。							
294	送夏目漱石之伊予	国語教材	子規全集 第八卷 漢詩 ・新体詩	211	正岡子規	講談社	1976	
295	無題	国語教材	漱石全集 第十八卷	429	夏目漱石	岩波書店	2018	
297	「霸王別姫」(京劇)	写真						アマナ ALMA1MRA3
298	鴻門之会	国語教材	『史記会注考証』 卷七 項羽本紀	141	司馬遷	芸文印書館	1972	
	原典P30L3「卻」を「郤」に改めた。							
299	玉玦	写真						ユニフォトプレス

								2J2CPMN
300	「鴻門会」	絵			安田鞞彦			東京国立近代美術館
304	四面楚歌	国語教材	『史記会注考証』巻七 項羽本紀	153	司馬遷	芸文印書館	1972	
305	項羽	絵			安田鞞彦			東京国立博物館
306	項王自刎	国語教材	『史記会注考証』巻七 項羽本紀	156	司馬遷	芸文印書館	1972	
307	項羽の墓（霸王祠）	写真						ユニフォトプレス YS-57219
310	陛下慢而侮人…	国語教材	『史記会注考証』巻八 高祖本紀	170	司馬遷	芸文印書館	1972	
310	項羽妬賢…	国語教材	『史記会注考証』巻八 高祖本紀	170	司馬遷	芸文印書館	1972	
310	項羽有一范增…	国語教材	『史記会注考証』巻八 高祖本紀	170	司馬遷	芸文印書館	1972	
311	羽非有尺寸…	国語教材	『史記会注考証』巻七 項羽本紀	152	司馬遷	芸文印書館	1972	
313	大成殿	写真						ユニフォトプレス YS-56463
314	博学而篤志	国語教材	十三経注疏 『論語』	5501		中華書局	2009	
314	君子不憂、不懼	国語教材	十三経注疏 『論語』	5436		中華書局	2009	
315	仁人之心也、義人路也	国語教材	十三経注疏『孟子』告子	202		芸文印書館	1985	
316	君子有三樂	国語教材	十三経注疏『孟子』尽心 上	233		芸文印書館	1985	
316	〔参考〕 君子に三樂有り	国語教材	講孟筭記（下）	343	吉田松陰	講談社	1980	
318	弟子孰為好學	国語教材	十三経注疏 『論語』	5381		中華書局	2009	
318	子路問君子。子曰、 「修己以敬。」	国語教材	十三経注疏 『論語』	5461		中華書局	2009	
319	〔参考〕人非聖人	国語教材	益軒全集 『慎思録』 卷十一	8	貝原益軒	国書刊行会	1973	
319	道不行、乘桴浮于海	国語教材	十三経注疏 『論語』	5372		中華書局	2009	
320	〔参考〕弟子	国語教材	中島敦全集第一巻	498	中島 敦	筑摩書房	1976	
323	性相近也	国語教材	十三経注疏 『論語』	5484		中華書局	2009	
323	〔参考〕論語徴	国語教材	日本名家四書注釈全書	314	荻生徂徠	東洋図書刊行会	1926	

324	性之善也、猶水之就下	国語教材	十三經注疏『孟子』告子上	5978		中華書局	2009	
325	人之性惡	国語教材	四部叢刊『荀子』性惡	171		上海商務印書館	1936	(下欄参照)
	原典P171上段L12「犯分」を「犯文」に改めた。							
327	魯迅	写真						日本近代文学館
328	小時了了	国語教材	四部叢刊『世説新語』	11		上海商務印書館	1936	
329	孔文举	絵						C.P.C PH-017
330	夜行逢鬼	国語教材	『太平広記』	669		古新書局	1961	
333	退修詩書図	絵						ユニフォトプレス 10155513
334	桃夭	国語教材	十三經注疏『詩経』周南	587		中華書局	2009	
335	行行重行行	国語教材	『文選』卷二十九	397		中文出版社	1972	(下欄参照)
	指導上の配慮により、「古詩十九首」連作の内、一首目を採録し、一句目を詩題とした。							
336	野田黄雀行	国語教材	四部叢刊『楽府詩集』	316	曹植	上海商務印書館	1936	(下欄参照)
	指導上の配慮により、「序」を削除し、連作二首のうちの第二首を採録した。							
337	飲酒	国語教材	四部叢刊『陶淵明集』	30	陶潜	上海商務印書館	1936	(下欄参照)
	指導上の配慮により、以下の訂正を行った。・「序」を削除し、連作二十首のうちの第五首を採録した。・「採」を「采」に改めた。							
339	老子出関図							東京国立博物館
340	無用之用	国語教材	古逸叢書『老子道德経』十一章	6		芸文印書館	1996	
341	人之生也、柔弱	国語教材	古逸叢書『老子道德経』七十六章	21		芸文印書館	1996	(下欄参照)
	指導上の配慮により、「木強則共」を「木強則折」に改めた。							
342	大道廢、有仁義	国語教材	古逸叢書『老子道德経』第十八章	35		芸文印書館	1996	(下欄参照)
	原典P35上段L6「恵」を「慧」に改めた。							
342	上善若水	国語教材	古逸叢書『老子道德経』第八章	16		芸文印書館	1996	
343	小国寡民	国語教材	古逸叢書『老子道德経』五十七章	22		芸文印書館	1996	
344	曳尾於塗中	国語教材	四部叢刊『南華真経』	127		上海商務印書館	1936	(下欄参照)

			秋水			館		
	原典P127下段L7「竟」を「境」に改めた。／原典P127下段L11「曳尾塗中」を、前行の表現に合わせて「曳尾於塗中」に改めた。							
345	夢為胡蝶	国語教材	四部叢刊『南華真經』 齊物論	26		上海商務印書館	1936	
347	屈子祠	写真						ユニフォトプレス YS-46529
348	漁父辞	国語教材	四部叢刊『楚辞』 卷五	95		上海商務印書館	1936	(下欄参照)
	指導上の配慮により、以下の訂正を行った。・教材名を、『古文真宝後集』により「漁父辞」とした。／「歌曰」→「乃歌曰」とした。							
349	屈原	絵			横山大観			巖島神社
351	汨羅江	写真						C.P.C YS-46539
352	五柳先生伝	国語教材	四部叢刊『陶淵明集』	56		上海商務印書館	1936	
352	五柳先生	絵			横山大観			東京国立博物館 C 000651
354	春夜宴桃李園序	国語教材	漢文大系2『箋解古文 真宝後集』卷之三	1		富山房	1911	
355	桃李園図軸	絵						東京国立博物館 TA- 719
355	羽觴	写真						九州国立博物館 20716202
356	〔参考〕古詩十九首 其十五	国語教材	四部叢刊『六臣註文選』 卷二十九	543		上海商務印書館	1936	(下欄参照)
	指導上の配慮により連作の十五首目を採録した。							
357	赤壁	写真						自社作成
358	赤壁之戦	国語教材	漢文大系『十八史略』 卷之三	57		富山房	1911	(下欄参照)
	原典P58L2「進」を「連」に改めた。							
361	竭股肱之力	国語教材	漢文大系『十八史略』 卷之三	65		富山房	1911	
361	劉備	写真						ユニフォトプレス 2J4WP0N
362	出師表	国語教材	漢文大系『十八史略』 卷之三	66		富山房	1911	
364	三顧茅廬図	絵			戴進			ユニフォトプレス HKRW09

366	所争不在米塩	国語教材	漢文叢書 『日本外史』	944	頼山陽	有朋堂	1924		
366	武田信玄	写真						アマナ 10157002928	
367	諸将服信玄	国語教材	漢文叢書 『日本外史』	921	頼山陽	有朋堂	1929		
367	謙信公	絵			小山栄達			国立近代美術館	
369	李白	絵						東京国立博物館	
369	杜甫	絵						C. P. C YS-74937	
370	秋浦歌	国語教材	漢文大系2 『箋注唐詩選』 卷之六	6	李白	富山房	1911		
370	早発白帝城	国語教材	漢文大系2 『箋注唐詩選』 卷之七	11	李白	富山房	1911		
371	送友人	国語教材	『唐詩三百首』 卷五	9	李白	香港商務印書館	1961		
372	月下独酌	国語教材	『唐詩三百首』 卷一	3	李白	香港商務印書館	1961		
372	李白醉酒図	絵						ユニフォトプレス 2EHFE8F	
373	〔参考〕 夢李白	国語教材	『唐詩三百首』 卷一	6	李白	香港商務印書館	1961		
374	絶句	国語教材	漢文大系2 『箋注唐詩選』 卷之六	15	杜甫	富山房	1911		
374	月夜	国語教材	漢文大系2 『箋注唐詩選』 卷之五	10	杜甫	富山房	1911		
375	登岳陽楼図	国語教材	漢文大系2 『箋注唐詩選』 卷之三	37	杜甫	富山房	1911	(下欄参照)	
	指導上の配慮により、「析」を「坼」に改めた。								
375	岳陽楼	写真						ユニフォトプレス MMPF3B	
376	石壕吏	国語教材	四部叢刊 『分門集注杜工部集』	255	杜甫	上海商務印書館	1936	(下欄参照)	
	指導上の配慮により、原典P255L11 「所」を「惟」に改めた。								
377	〔参考〕 杜甫石壕吏	国語教材	子規全集 第6巻	199	正岡子規	講談社	1977		
380	風蕭蕭兮易水寒	国語教材	『史記会注考証』 刺客列伝	1002	司馬遷		1974		
383	易水離別図	絵			寺崎広業			秋田市立千秋美術館	
384	図窮而七首見	国語教材	『史記会注考証』 刺客列伝	1005	司馬遷		1974		
385	『東周列国志』	絵						ユニフォトプレス	

								PT-12140
388	俛出袴下	国語教材	『史記会注考証』 淮陰侯列伝	1037	司馬遷		1974	
391	背水陳	国語教材	『史記会注考証』 淮陰侯列伝	1040	司馬遷		1974	
395	楊貴妃	写真						ユニフォトプレス J08028
396	長恨歌	国語教材	四部叢刊 『白氏長慶集』	63	白居易	上海商務印書館	1936	(下欄参照)
	原典P63下段L4～P64中段L2を採録した。／原典P63下段L16「縵」を「慢」に改めた。／原典P63下段L20「娥」を「蛾」に改めた。／原典P63下段L23「媚」を「眉」に改めた。／原典P64上段L6「鍾」を「鐘」に改めた。／原典P64上段L14「玉真」を「太真」に改めた。／原典P64上段L17「夢中」を「夢魂」に改めた。／原典P64上段L18「垂」を「偏」に改めた。／原典P64上段L20「欄」を「闌」に改めた。／原典P64上段L21「眇」を「渺」に改めた。／原典P64中段L2「盡」を「絶」に改めた。							
397	楊貴妃華清池出浴図	絵						ユニフォトプレス MKPPGG
399	長恨歌絵巻	絵						大阪大谷大学図書館
403	[参考] 桐壺	国語教材	新編日本古典文学全集20 『源氏物語1』	35	紫式部	小学館	1994	
403	[参考] 木の花は	国語教材	新編日本古典文学全集18 『枕草子』	86	清少納言	小学館	1997	
404	三月尽	国語教材	日本古典文学大系 『和漢朗詠集』 卷上	60		岩波書店	1965	(下欄参照)
	白居易・菅原道真・紀貫之の漢詩文を採録。							
407	行書陶淵明帰去来図画賛軸	写真						東京国立博物館 TB-1700
408	桃花源記	国語教材	四部叢刊 『陶淵明集』	5	陶潜	上海商務印書館	1936	
408 409	武陵桃源図	写真			呉春			遠山記念館
412	離魂記	国語教材	『太平広記』 卷三百五十八	740	陳元祐	中華書局	1961	(下欄参照)
	原典P740 4段落目L2 「倩」を「情」に改めた。							
417	班固	絵						C. P. C HK-030425
418	原泉混混	国語教材	十三経注疏『孟子』卷八上	5931		中華書局	2009	
419	天下莫柔弱於水	国語教材	『老子註』	152				
419	兵形象水	国語教材	四部叢刊 『孫子集注』	78		上海商務印書	1936	(下欄参照)

						館		
	指導上の配慮により、以下の訂正を行った。・採録部分冒頭の「以正治国以奇用兵」を削除。・「水之形」を「水之行」に改めた。							
420	直躬	国語教材	十三経注疏 『論語』	5448		中華書局	2009	
421	直躬	国語教材	四部叢刊 『韓非子』 第十九	97		上海商務印書館	1936	
422	能近取譬	国語教材	十三経注疏 『論語』	5385		中華書局	2009	
423	無恒産無恒心	国語教材	十三経注疏 『孟子』 梁恵王上	5809		中華書局	2009	(下欄参照)
	指導上の配慮により、採録部分冒頭に「孟子」を補った。							
424	無為之治	国語教材	古逸叢書 『老子道德経』 三章	9		芸文印書館	1996	(下欄参照)
	指導上の配慮により「知者」を「智者」に改めた。							
424	兼愛	国語教材	新編諸子集成 『墨子問話』 兼愛中	94		中華書局	1936	
426	侵官之害	国語教材	四部叢刊 『韓非子』 二柄	9		上海商務印書館	1936	
429	科挙	写真						C. P. C. YSD-12817
430	捕蛇者説	国語教材	四部叢刊 『注釈音弁唐柳先生集』 卷十六	89	柳宗元	上海商務印書館	1936	
434	[参考] 苛政猛於虎也	国語教材	十三経注疏 『礼記』	2842		中華書局	2009	
435	朋党論	国語教材	四部叢刊 『欧陽文忠公文集』 第十七	153	欧陽脩	上海商務印書館	1936	
438	[参考] 御製朋党論	国語教材	『大清世宗憲(雍正)皇帝実録(一)』	343	雍正帝	台湾華文書局	1964	
④	出産	写真	「北野天神縁起絵巻」					北野天満宮
④	五十日の祝い	写真	「紫式部日記絵巻」					東京国立博物館
④⑤	元服	写真	「源氏物語色紙絵」					奈良大学博物館
④⑤	手紙の贈答	写真	「源氏絵鑑帖」					宇治市源氏物語ミュージアム
⑤	露頭	写真	「源氏物語絵巻」 宿木(二)					徳川美術館
⑤	菅原道真の五十の賀	写真	「北野天神縁起絵巻」					北野天満宮
⑥	唐衣・裳(十二単)	写真						風俗博物館
⑥	汗衫	写真						風俗博物館
⑥	桂	写真						風俗博物館
⑥	小桂	写真						風俗博物館

⑦	武官束帯	写真					風俗博物館
⑦	文官束帯	写真					風俗博物館
⑦	狩衣	写真					風俗博物館
⑦	直垂	写真					風俗博物館
⑦	直衣	写真					風俗博物館
⑧	大鎧（前）	写真					風俗博物館
⑧	大鎧（後ろ）	写真					風俗博物館
⑧	長覆輪兵庫鎖太刀	写真					折井宏光
⑧	網代車	写真	『故実叢書』 「輿車図考 附図乙」				国立国会図書館
⑨	楽琵琶	写真					風俗博物館
⑨	和琴	写真					風俗博物館
⑨	箏	写真					風俗博物館
⑨	琴	写真					風俗博物館
⑨	笙	写真					風俗博物館
⑨	三ノ鼓	写真					宮内庁式部職楽部
⑨	蹴鞠	写真	「年中行事絵巻」				田中家／中央公論新 社
⑨	鷹狩り	写真	「春日権現験記絵」				宮内庁三の丸尚蔵館
⑨	碁	写真	「源氏物語絵色紙帖」		土佐光吉		京都国立博物館
⑨	歌合	写真	「天徳内裏歌合想定図」				京都文化博物館
⑩	寝殿造り	写真					京都文化博物館／ア ート・エフ
⑩	清涼殿弘徽殿の上の御 局（復元模型）	写真					京都文化博物館
⑩	半蒔	写真	「紫式部日記絵巻」				五島美術館
⑪	寝殿の内部	写真					池浩三
⑪	廂	写真					風俗博物館
⑫	「源氏物語図」	写真			冷泉為恭		MOA美術館
⑫	脇息	写真					風俗博物館
⑫	御簾	写真					風俗博物館
⑫	鏡台	写真					風俗博物館
⑫	鏡箱	写真					風俗博物館
⑫	几帳	写真					風俗博物館
⑫	帳台	写真					風俗博物館

⑫	屏風	写真					風俗博物館
⑳	皇帝（西晋の武帝）の 礼装 皇帝（唐の太宗）の平 常服 武則天 簪花仕女図 文官俑 武官俑 銅馬車	絵 写真					ユニフォトプレス MYH380 ユニフォトプレス 2HTHWD7 ユニフォトプレス C01C0487 ユニフォトプレス PT-13211 ユニフォトプレス PT-13211 C. P. C. YS-9500 C. P. C. YS-9507 C. P. C. LGY-0005
㉓	矛 盾 戟 戟（全体） 銅弩 銅矢箠 盔 竹簡 帛書	写真					ユニフォトプレス C01C3129 ユニフォトプレス JBD-457 ユニフォトプレス YSD-14210 C. P. C. JB232 C. P. C. JB237 C. P. C. JB238 ユニフォトプレス YSD-12454 ユニフォトプレス LGY-0002 ユニフォトプレス JB-451
㉔	瑟 琴 竽 簫 銅鼓 編鐘	写真					東京藝術大学大学美術館 ユニフォトプレス YSD-13331 C. P. C. JB-242 ユニフォトプレス KJ-45 ユニフォトプレス AKG3816005

								ユニフォトプレス KJ-43
②⑤	韓愈 柳宗元 欧陽脩 蘇洵 蘇軾 蘇轍 王安石 曾鞏	絵						ユニフォトプレス AKG3813690 ユニフォトプレス 2B018JF C. P. C PT-12010 C. P. C PT-12414 ユニフォトプレス J4H3E4 C. P. C PT-12014 ユニフォトプレス J4R0N2 ユニフォトプレス 2W9K9KX

(備考) 1 「申請図書」の欄については次のとおりとする。

- ① 「ページ」の欄には、引用又は新たに作成した教材や資料等の申請図書における掲載ページを示す。
- ② 「名称」の欄には、引用した教材や資料等の申請図書における名称を示す。
- ③ 「種別」の欄には、国語教材、楽譜、写真、図、挿絵、表、グラフ、地図などの別を示す。

2 「出典」の欄については次のとおりとする。

- ① 出典が一般図書の場合は、当該図書の名称（版次を含む。）、掲載ページ、著作者・編集者等、発行者及び発行年次を各欄に示す。
- ② 出典が定期刊行物の場合は、発行年次等欄に巻号、発行月日等を示す。
- ③ 出典が図書でない場合には、備考欄に資料提供者や保有者の氏名又は名称、及び当該資料に付された整理番号等を示すなど、出典を確認することが可能な情報を記入する。

3 出典を基に申請図書の発行者が改変を行った場合又は新たに作成を行った場合は、「備考」欄にその旨を示す。

4 (1) 写真等については、肖像権等の権利処理を必要に応じて行うこと。

(2) 著作物の掲載に当たっては、著作権法第33条に基づき、掲載する旨を著作者に通知するとともに、補償金を著作権者に支払う必要があることに留意すること（別途契約を締結する場合を除く）。

備考4の内容について確認しました。

ウェブサイトのアドレスの掲載箇所一覧表

申請図書			学習上の参考に供する情報			備考
番号	ページ	種別	参照先	URL	概要	
1	前見返し 1	URL	自社	自社ページURL	コンテンツ一覧	別紙1添付
		二次元 コード	自社	同上	同上	
2	12	二次元 コード	自社	自社ページURL	小テスト 宇治拾遺物 語(クイズ)	別紙2添付
3	14	二次元 コード	自社	自社ページURL	朗読 能は歌詠み(音 声) 小テスト 古今著聞集 (クイズ)	別紙3添付
4	20	二次元 コード	自社	自社ページURL	小倉百人一首(補足資 料)	別紙4添付
5	22	二次元 コード	自社	自社ページURL	朗読 初冠(音声) 資料映像 伊勢物語 (動画) 小テスト 伊勢物語(ク イズ)	別紙5-1、 5-2添付
6	30	二次元 コード	自社	自社ページURL	小テスト 大和物語(ク イズ)	別紙6添付
7	36	二次元 コード	自社	自社ページURL	小テスト 枕草子(クイ ズ)	別紙7添付

8	46	二次元コード	自社	自社ページURL	朗読 壇の浦の合戦 (音声) 資料映像 平家物語 (動画) 小テスト 平家物語(クイズ)	別紙8-1、 8-2添付
9	60	二次元コード	自社	自社ページURL	小テスト 方丈記(クイズ)	別紙9添付
10	62	二次元コード	自社	自社ページURL	小テスト 徒然草(クイズ)	別紙10添付
11	70	二次元コード	自社	自社ページURL	小テスト 玉勝間(クイズ)	別紙11添付
12	74	二次元コード	自社	自社ページURL	朗読 門出(音声) 小テスト 更級日記(クイズ)	別紙12添付
13	78	二次元コード	自社	自社ページURL	小テスト 蜻蛉日記(クイズ)	別紙13添付
14	82	二次元コード	自社	自社ページURL	朗読 光源氏の誕生 (音声) 資料映像 源氏物語 (動画) 小テスト 源氏物語 (一)(クイズ) 『源氏物語』の登場人物 (補足資料)	別紙14-1、 14-2添付
15	92	二次元コード	自社	自社ページURL	朗読 雲林院の菩提講 (音声) 小テスト 大鏡(一)(クイズ)	別紙15添付
16	108	二次元コード	自社	自社ページURL	小テスト 八代集の世界 (クイズ)	別紙16添付

17	114	二次元コード	自社	自社ページURL	小テスト 歌合(クイズ)	別紙17添付
18	117	二次元コード	自社	自社ページURL	小テスト 歌論(クイズ)	別紙18添付
19	122	二次元コード	自社	自社ページURL	小テスト 歌謡(クイズ)	別紙19添付
20	126	二次元コード	自社	自社ページURL	小テスト 世間胸算用(クイズ)	別紙20添付
21	138	二次元コード	自社	自社ページURL	小テスト 宇治拾遺物語(クイズ)	別紙21添付
22	144	二次元コード	自社	自社ページURL	小テスト 発心集(クイズ)	別紙22添付
23	148	二次元コード	自社	自社ページURL	小テスト 紫式部日記(クイズ)	別紙23添付
24	152	二次元コード	自社	自社ページURL	小テスト 和泉式部日記(クイズ)	別紙24添付
25	155	二次元コード	自社	自社ページURL	小テスト 十六夜日記(クイズ)	別紙25添付
26	160	二次元コード	自社	自社ページURL	朗読 須磨の秋(音声) 小テスト 源氏物語(二)(クイズ) 『源氏物語』の登場人物(補足資料)	別紙26-1、26-2添付
27	196	二次元コード	自社	自社ページURL	小テスト 大鏡(二)(クイズ)	別紙27添付
28	212	二次元コード	自社	自社ページURL	小テスト 俊頼髓脳(クイズ)	別紙28添付
29	214	二次元コード	自社	自社ページURL	小テスト 無名抄(クイズ)	別紙29添付

30	216	二次元コード	自社	自社ページURL	小テスト 正徹物語(クイズ)	別紙30添付
31	218	二次元コード	自社	自社ページURL	小テスト 無名草子(クイズ)	別紙31添付
32	220	二次元コード	自社	自社ページURL	小テスト 源氏物語玉の小櫛(クイズ)	別紙32添付
33	223	二次元コード	自社	自社ページURL	小テスト 花鏡(クイズ)	別紙33添付
34	225	二次元コード	自社	自社ページURL	小テスト 虚実皮膜論(クイズ) 古典芸能への誘い(補足資料)	別紙34-1、 34-2添付
35	228	二次元コード	自社	自社ページURL	小テスト 落窪物語(クイズ)	別紙35添付
36	231	二次元コード	自社	自社ページURL	小テスト 堤中納言物語(クイズ)	別紙36添付
37	235	二次元コード	自社	自社ページURL	小テスト とりかへばや物語(クイズ)	別紙37添付
38	240	二次元コード	自社	自社ページURL	小テスト 芭蕉(クイズ)	別紙38添付
39	243	二次元コード	自社	自社ページURL	小テスト 蕪村(クイズ)	別紙39添付
40	245	二次元コード	自社	自社ページURL	小テスト 去来抄(クイズ)	別紙40添付
41	249	二次元コード	自社	自社ページURL	小テスト 三冊子(クイズ)	別紙41添付
42	254	二次元コード	自社	自社ページURL	小テスト 古事記(クイズ)	別紙42添付
43	259	二次元コード	自社	自社ページURL	小テスト 万葉秀歌(クイズ)	別紙43添付

44	264	二次元コード	自社	自社ページURL	小テスト 雨月物語(クイズ)	別紙44添付
45	274	二次元コード	自社	自社ページURL	小テスト 『小倉百人一首』の注釈を読む(クイズ)	別紙45添付
46	280	二次元コード	自社	自社ページURL	小テスト 小話(クイズ) 再読文字(補足資料)	別紙46添付
47	288	二次元コード	自社	自社ページURL	やってみよう 押韻(シミュレーション) 朗読 江雪(音声) 朗読 勸酒(音声) 朗読 磧中作(音声) 朗読 江南春(音声) 朗読 杜少府之任蜀州(音声) 朗読 黄鶴楼(音声) 小テスト 唐詩(クイズ) 漢詩の形式ときまり(補足資料)	別紙47-1、47-2、47-3、47-4添付

48	293	二次元コード	自社	自社ページURL	やってみよう 押韻(シミュレーション) 小テスト 日本の漢詩(クイズ)	別紙48添付
49	298	二次元コード	自社	自社ページURL	資料映像 司馬遷と史記(動画) 小テスト 項羽(クイズ)	別紙49添付
50	314	二次元コード	自社	自社ページURL	資料映像 孟子(動画) 資料映像 孔門の十哲を語る 顔回(動画) 資料映像 孔門の十哲を語る 子路(動画) 資料映像 孔門の十哲を語る 子夏(動画) 小テスト 儒家の思想(クイズ) 孔子カード(補足資料) 孟子カード(補足資料) 荀子カード(補足資料) 孔子の弟子相関図(補足資料) 思想の系譜(補足資料)	別紙50-1、50-2、50-3添付

51	328	二次元 コード	自社	自社ページURL	小テスト 小説(クイズ)	別紙51添付
52	334	二次元 コード	自社	自社ページURL	小テスト 古詩(クイズ) 漢詩の形式ときまり (補足資料)	別紙52添付
53	340	二次元 コード	自社	自社ページURL	小テスト 道家の思想 (クイズ) 老子カード (補足資料) 荘子カード (補足資料) 思想の系譜 (補足資料)	別紙53添付
54	348	二次元 コード	自社	自社ページURL	小テスト 文(クイズ)	別紙54添付

55	358	二次元 コード	自社	自社ページURL	資料映像 三国志の英雄を語る 曹操 (動画) 資料映像 三国志の英雄を語る 孫権 (動画) 資料映像 三国志の英雄を語る 劉備 (動画) 資料映像 三国志の英雄を語る 諸葛亮 (動画) 小テスト 三国志の世界(クイズ) 「三国志」人物相関図 (補足資料)	別紙55-1、5 5-2添付
56	366	二次元 コード	自社	自社ページURL	小テスト 日本外史(クイズ)	別紙56添付
57	370	二次元 コード	自社	自社ページURL	やってみよう 押韻(シミュレーション) 小テスト 李白と杜甫(クイズ) 漢詩の形式ときまり (補足資料)	別紙57添付
58	380	二次元 コード	自社	自社ページURL	小テスト 荊軻伝(クイズ)	別紙58添付
59	388	二次元 コード	自社	自社ページURL	小テスト 韓信伝(クイズ)	別紙59添付

60	396	二次元コード	自社	自社ページURL	朗読 長恨歌(音声) 小テスト 白楽天(クイズ)	別紙60添付
61	404	二次元コード	自社	自社ページURL	小テスト 和漢朗詠集 (クイズ)	別紙61添付
62	408	二次元コード	自社	自社ページURL	小テスト 小説(クイズ)	別紙62添付
63	418	二次元コード	自社	自社ページURL	小テスト 諸子百家(クイズ) 思想の系譜 (補足資料)	別紙63添付
64	430	二次元コード	自社	自社ページURL	小テスト 唐宋八大家 の文章(クイズ)	別紙64添付
65	439	二次元コード	自社	自社ページURL	品詞分類表(シミュレーション) 品詞分類表(ワークシート) 動詞活用表(シミュレーション) 動詞活用表(ワークシート) 形容詞活用表(シミュレーション) 形容詞活用表(ワークシート) 形容動詞活用表(シミュレーション) 形容動詞活用表(ワークシート)	別紙65-1、 65-2添付

66	440	二次元コード	自社	自社ページURL	助動詞活用表(シミュレーション) 助動詞活用表(ワークシート)	別紙66添付
67	442	二次元コード	自社	自社ページURL	助詞一覧表(ワークシート)	別紙67添付
68	444	二次元コード	自社	自社ページURL	小テスト 敬語(クイズ)	別紙68添付
69	448	二次元コード	自社	自社ページURL	小テスト 日本古典文学史(クイズ)	別紙69添付
70	452	二次元コード	自社	自社ページURL	小テスト 句法・重要語(クイズ)	別紙70添付
71	466	二次元コード	自社	自社ページURL	小テスト 中国文学史(クイズ)	別紙71添付
72	巻末4	二次元コード	自社	自社ページURL	小テスト 古典参考図録(クイズ)	別紙72添付



コンテンツ一覧

ホームへ 書名入る

古文編 | 部

12ページ 小テスト 宇治拾遺物語

宇治拾遺物語

- 古今著聞集
- 和歌の心一解釈のプロセス
- 伊勢物語
- 大和物語
- 枕草子
- 平家物語
- 方丈記
- 徒然草
- 玉勝間
- 更級日記
- 蜻蛉日記
- 源氏物語 (一)
- 大鏡 (一)
- 八代集の世界
- 歌合
- 歌論
- 歌謡
- 世間胸算用

2025.10.10 10:10

ボタン位置
切りかえ

ここでの「札」の意味として、
なものを選べ。 適當

新しく仕える主人に提出する文書。

皇位のしるしとして歴代の天皇が継承する宝物。

政治や権力への風刺、批判を匿名で記した立て札。

神仏の守り札。

メニューへ

1/5

ホームへ

書名入る

古文編 | 部

宇治拾遺物語 >

古今著聞集

和歌の心一解釈のプロセス >

伊勢物語 >

大和物語 >

枕草子 >

平家物語 >

方丈記 >

徒然草 >

玉勝間 >

更級日記 >

蜻蛉日記 >

源氏物語 (一) >

大鏡 (一) >

八代集の世界 >

歌合 >

歌論 >

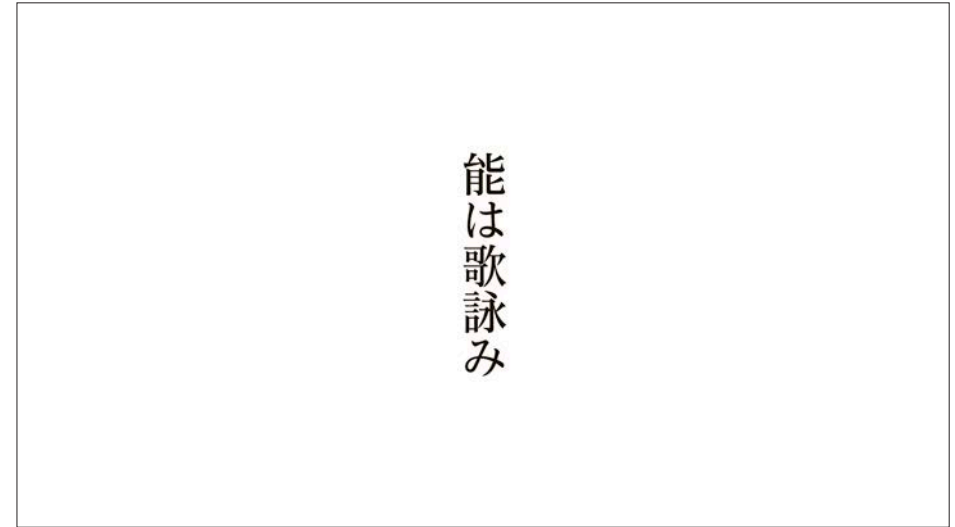
歌謡 >

世間胸算用 >

14ページ 朗読 能は歌詠み

14ページ 小テスト 古今著聞集

メニューへ



14ページ 朗読 能は歌詠み「音声」

ボタン位置
切りかえ

次の歌について、空欄に当てはまる語句を選べ。

青柳のみどりの糸を繰りおきて
へて(2) ははたおりぞ鳴く(1)

①秋 ②春

①春 ②秋

①秋 ②夏

①夏 ②秋

メニューへ

1/5

14ページ 小テスト 古今著聞集「クイズ」

ホームへ 書名入

古文編 | 部

- 宇治拾遺物語
- 古今著聞集
- 和歌の心ー解釈のプロセス
- 伊勢物語
 - 大和物語
 - 枕草子
 - 平家物語
 - 方丈記
 - 徒然草
 - 玉勝間
 - 更級日記
 - 蜻蛉日記
 - 源氏物語 (一)
 - 大鏡 (一)
 - 八代集の世界
 - 歌合
 - 歌論
 - 歌謡
 - 世間胸算用

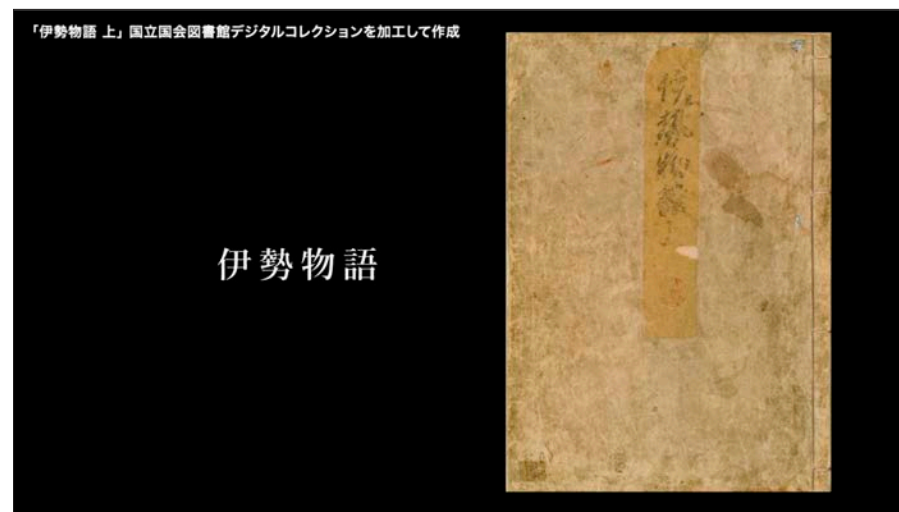
22ページ 朗読 初冠

22ページ 資料映像 伊勢物語

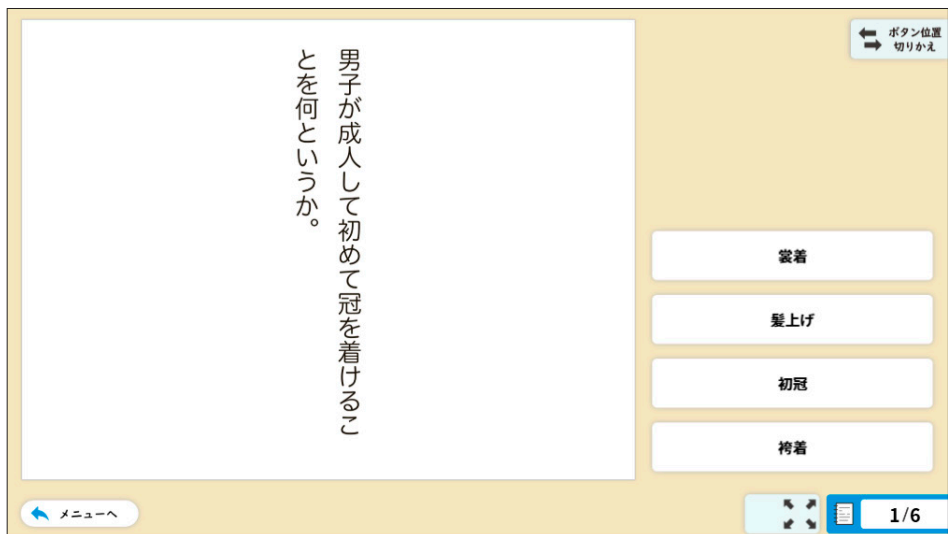
22ページ 小テスト 伊勢物語



22ページ 朗読 初冠 [音声]



22ページ 資料映像 伊勢物語 [動画]



22 ページ 小テスト 伊勢物語「クイズ」

ホームへ 書名入る

古文編 | 部

30ページ 小テスト 大和物語

- 宇治拾遺物語
- 古今著聞集
- 和歌の心ー解釈のプロセス
- 伊勢物語
- 大和物語**
- 枕草子
- 平家物語
- 方丈記
- 徒然草
- 玉勝間
- 更級日記
- 蜻蛉日記
- 源氏物語 (一)
- 大鏡 (一)
- 八代集の世界
- 歌合
- 歌論
- 歌謡
- 世間胸算用

2025.10.10 10:10

ボタン位置
切りかえ

『大和物語』と同じジャンルに属する
作品を選べ。

- 伊勢物語
- 宇治拾遺物語
- 竹取物語
- 平家物語

メニューへ 1/5

ホームへ 書名入る

古文編 | 部

36ページ 小テスト 枕草子

- 宇治拾遺物語
- 古今著聞集
- 和歌の心ー解釈のプロセス
- 伊勢物語
- 大和物語
- 枕草子**
- 平家物語
- 方丈記
- 徒然草
- 玉勝間
- 更級日記
- 蜻蛉日記
- 源氏物語 (一)
- 大鏡 (一)
- 八代集の世界
- 歌合
- 歌論
- 歌謡
- 世間胸算用

2022.10.10 10:10

ボタン位置
切り替え

「すなはまじきもの」のような章段を何
ついでか。

類聚的章段

随想的章段

日記的章段

メニューへ 1/6

ホームへ

書名入る

古文編 | 部

- 宇治拾遺物語 >
- 古今著聞集 >
- 和歌の心ー解釈のプロセス >
- 伊勢物語 >
- 大和物語 >
- 枕草子 >
- 平家物語
 - 方丈記 >
 - 徒然草 >
 - 玉勝間 >
 - 更級日記 >
 - 蜻蛉日記 >
 - 源氏物語 (一) >
 - 大鏡 (一) >
 - 八代集の世界 >
 - 歌合 >
 - 歌論 >
 - 歌謡 >
 - 世間胸算用 >

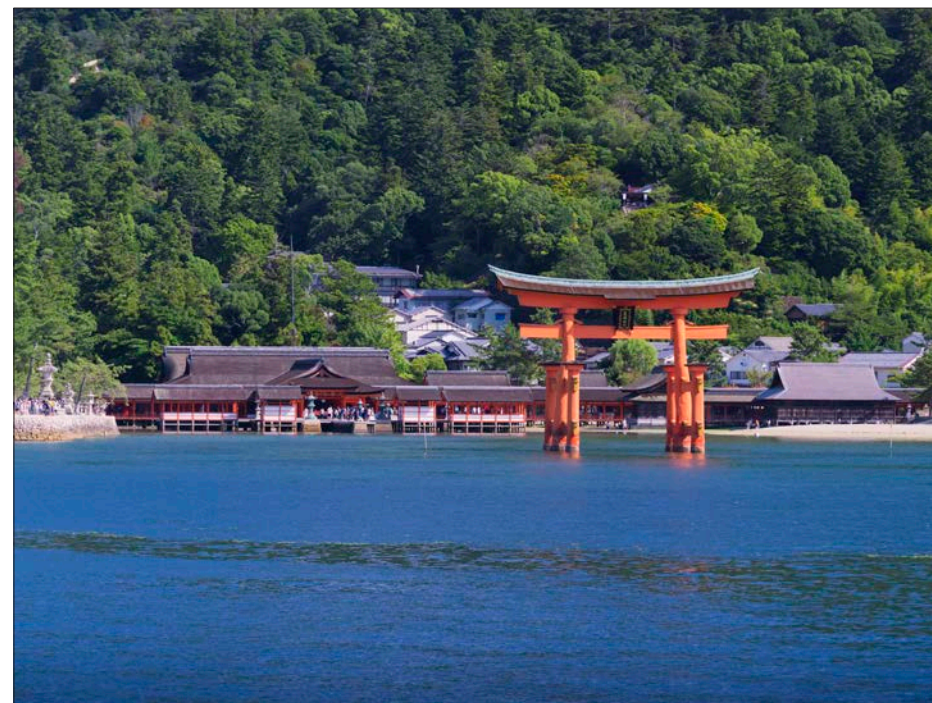
52ページ 朗読 壇の浦の合戦

46ページ 資料映像 平家物語

46ページ 小テスト 平家物語



52ページ 朗読 壇の浦の合戦「音声」



46ページ 資料映像 平家物語「動画」

「薩摩守忠度」の兄を選べ。

安徳天皇

平忠盛

平清盛

平知盛

メニューへ

ボタン位置 切りかえ

1/8

46 ページ 小テスト 平家物語「クイズ」

ホームへ 書名入る

古文編 | 部

60ページ 小テスト 方丈記

字治拾遺物語 >

古今著聞集 >

和歌の心ー解釈のプロセス >

伊勢物語 >

大和物語 >

枕草子 >

平家物語 >

方丈記

徒然草 >

玉勝間 >

更級日記 >

蜻蛉日記 >

源氏物語 (一) >

大鏡 (一) >

八代集の世界 >

歌合 >

歌論 >

歌謡 >

世間胸算用 >

2025.10.10 10:10

ボタン位置
切りかえ

空欄に当てはまる語句を選べ。

安元の大火では、都の(①)か
ら(②)にかけて延焼した。

①北西 ②南東

①南西 ②北東

①北東 ②南西

①南東 ②北西

メニューへ 1/5

ホームへ 書名入る

古文編 | 部

62ページ 小テスト 徒然草

- 字治拾遺物語
- 古今著聞集
- 和歌の心ー解釈のプロセス
- 伊勢物語
- 大和物語
- 枕草子
- 平家物語
- 方丈記
- 徒然草
 - 玉扇間
 - 更級日記
 - 蜻蛉日記
 - 源氏物語 (一)
 - 大鏡 (一)
 - 八代集の世界
 - 歌合
 - 歌論
 - 歌謡
 - 世間胸算用

2022.10.10 10:00

ボタン位置 切りかえ

「悲田院の兎蓮上人は」の文として、
空欄に当てはまる語句を選べ。

…多かる中に寺をも住持せらるるは、
かく柔らぎたるところありて、その
益もあるに①とおぼえ侍り②。

①や ②し

①や ②き

①こそ ③き

①こそ ②し

メニューへ 1/5

ホームへ 書名入る

古文編 | 部

- 宇治拾遺物語 >
- 古今著聞集 >
- 和歌の心—解釈のプロセス >
- 伊勢物語 >
- 大和物語 >
- 枕草子 >
- 平家物語 >
- 方丈記 >
- 徒然草 >
- 玉勝間
- 更級日記 >
- 蜻蛉日記 >
- 源氏物語 (一) >
- 大鏡 (一) >
- 八代集の世界 >
- 歌合 >
- 歌論 >
- 歌謡 >
- 世間胸算用 >

70ページ 小テスト 玉勝間

ボタン位置 切りかえ

「兼好法師が詞のあげつらひ」「における「作り雅び」の意味として、適切なものを選び。」

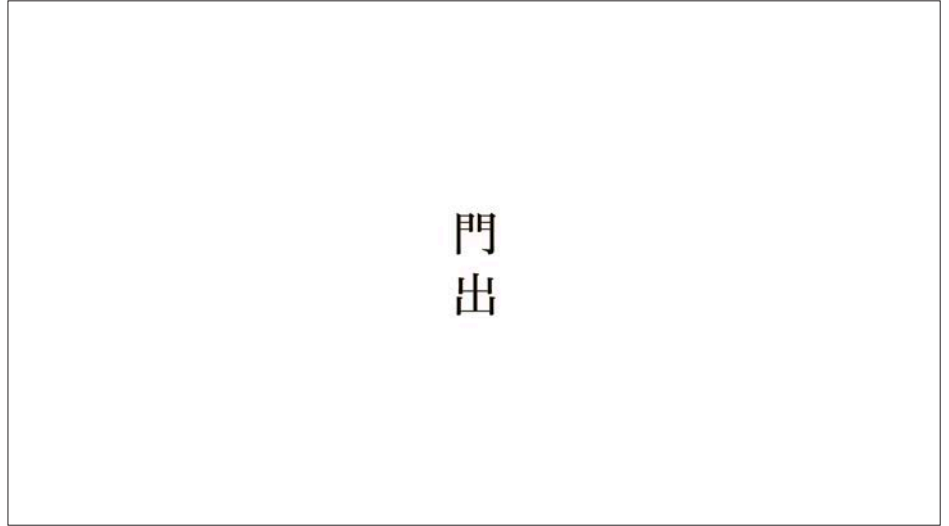
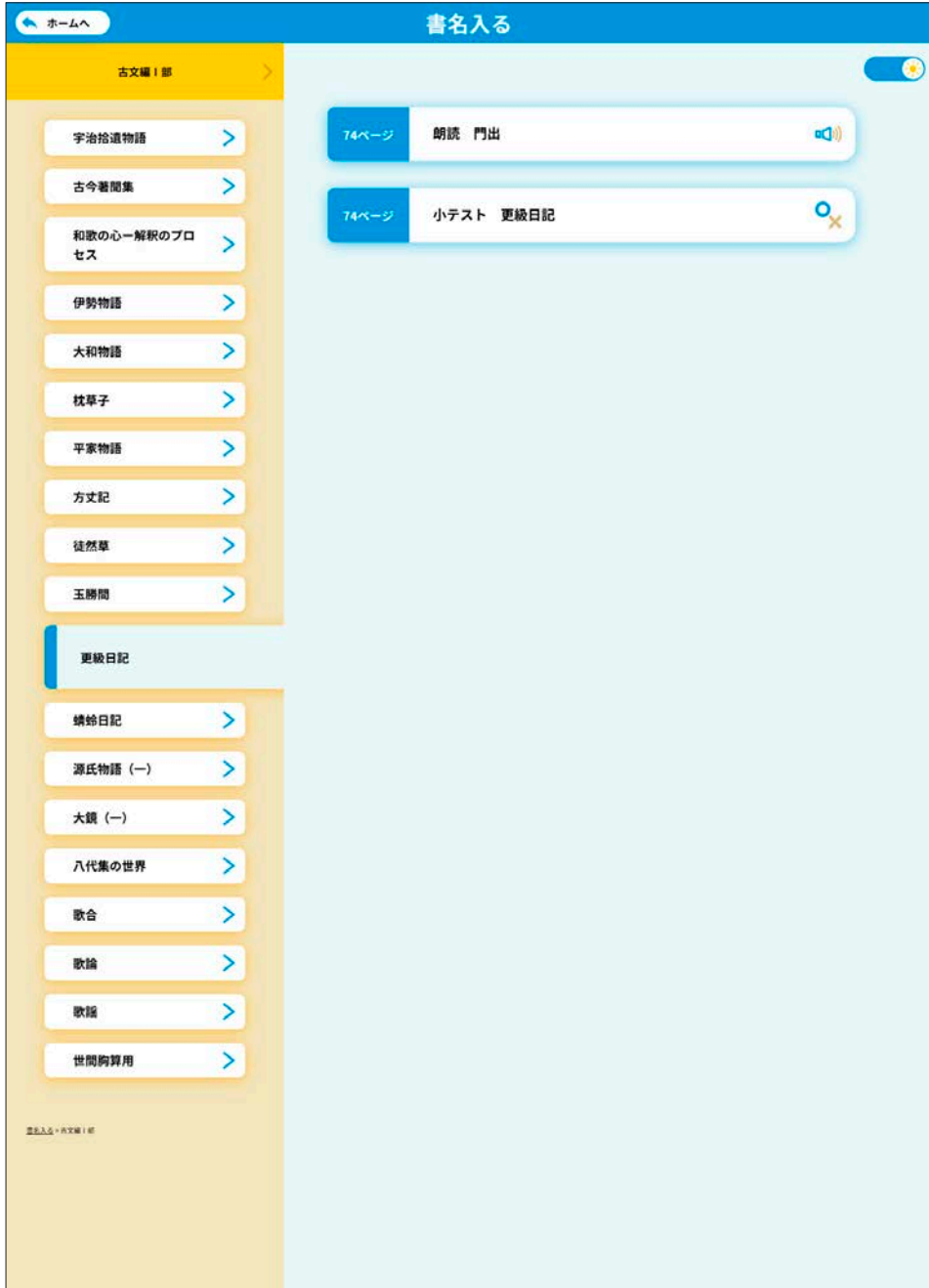
ことさらに作りあげた風情。

準備すること。

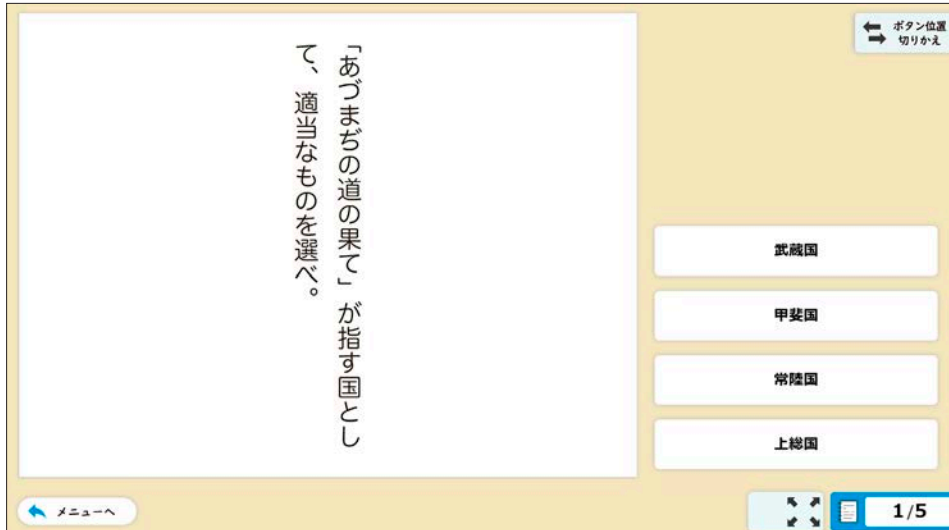
はかないこの世。

仏教や儒教の考え方。

メニューへ 1/5



74ページ 朗読 門出「音声」



74ページ 小テスト 更級日記「クイズ」

ホームへ

書名入る

古文編 | 部

78ページ 小テスト 蜻蛉日記

字治拾遺物語 >

古今著聞集 >

和歌の心—解釈のプロセス >

伊勢物語 >

大和物語 >

枕草子 >

平家物語 >

方丈記 >

徒然草 >

玉勝間 >

更級日記 >

蜻蛉日記

源氏物語 (一) >

大鏡 (一) >

八代集の世界 >

歌合 >

歌論 >

歌謡 >

世間胸算用 >

© 2015 国文学研究資料館

ボタン位置
切りかえ

『蜻蛉日記』の作者を選べ。

阿仏尼

藤原道綱母

和泉式部

菅原孝標女

メニューへ

1/5



82ページ 朗読 光源氏の誕生「音声」



82ページ 資料映像 源氏物語「動画」

ボタン位置
切りかえ

『源氏物語』の作者を選べ。

清少納言

紀貫之

鴨長明

紫式部


メニューへ

1/7

82 ページ 小テスト 源氏物語(一)「クイズ」


















『源氏物語』の登場人物

第一部・第二部




光源氏

第1部・第2部の主人公
容貌と字才に恵まれ、風流を解する理想的な貴公子。




<p>桐壺の帝</p>  <p>光源氏の父 桐壺の更衣を寵愛して光源氏をもうける。</p>	<p>桐壺の更衣</p>  <p>光源氏の母 桐壺の帝の寵愛を受けて光源氏を産む。</p>	<p>冷泉帝</p>  <p>光源氏の皇子 表面は桐壺の帝の第十皇子だが、実は光源氏と藤壺の宮との不義の子。</p>		
<p>夕霧</p>  <p>光源氏の皇子 母は高の上、幼なじみの雲居の卿と結婚する。左大臣となる。</p>	<p>藤壺の宮</p>  <p>光源氏の最愛の女性 とき高帝の寵愛と似た容貌から、桐壺の帝に望まれて入内する。</p>	<p>葵の上</p>  <p>光源氏の正妻 四條下町の光源氏と結婚するが、互いに打ち解けない。</p>	<p>若紫・紫の上</p>  <p>光源氏の妻の一人（藤壺の宮の娘） 知くして美由と愛別したが、光源氏に引き取られ、後に妻となる。才色兼備で光源氏から終生大切にされる理想的な女性として描かれる。</p>	
<p>夕顔</p>  <p>光源氏の愛人 光源氏と互いに素性を明かさないまま逢瀬を重ねる。</p>	<p>六条の御息所</p>  <p>光源氏の愛人 嫉妬深く、その生き霊が妻の上や夕霧を死に至らせる。</p>	<p>羅月夜の尚侍</p>  <p>光源氏の愛人 嫉妬深く、その生き霊が妻の上や夕霧を死に至らせる。光源氏が失脚し、須磨に下る原因となる。</p>	<p>明石の君</p>  <p>光源氏の妻の一人 須磨から明石に移った光源氏と知り、後に中宮となる明石の姫君を産む。</p>	<p>女三の宮</p>  <p>光源氏の正妻（藤壺の宮の娘） 幼穉かゆえ、光源氏を後継ぎさせる。柏木と通ちを返し、薫を産む。</p>
<p>花散里</p>  <p>光源氏の妻の一人 まじめで穏やかな性格で、長く光源氏の庇護を受ける。</p>	<p>玉鬘</p>  <p>夕霧の姉 光源氏をはじめ多くの男性から愛を寄せられるが、黒黒の大將と結婚する。</p>	<p>空蝉</p>  <p>光源氏の愛人 光源氏と一度交わりを交わすが、以後は光源氏の求愛を受け入れなかった。</p>	<p>末摘花</p>  <p>光源氏の愛人 古風な性格で、長く垂れた髪が美しい。楽しい生活の中で光源氏を思い続けた。</p>	<p>朝顔</p>  <p>光源氏の従姉妹 情み深く聡明な女性。光源氏か薫に愛をむかえて、求愛を受けるが、拒み続けた。</p>

第三部



薫

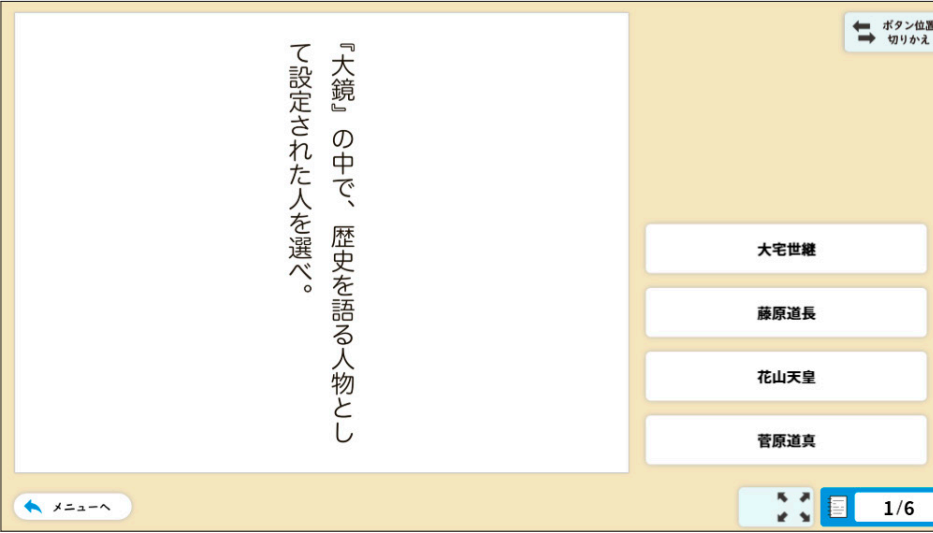
第3部の主人公（光源氏の孫）
母は明石の姫君（中宮）。薫に対抗心を抱いている。情熱的で色好みの人物。

<p>宇治の大君</p>  <p>光源氏の異母弟の娘 薫から思いを寄せられるが、薫と宇治の中の君との結婚を望む。</p>	<p>宇治の中の君</p>  <p>宇治の大君の妹 匂宮と結婚するも、亡き宇治の大君の面影を求め薫から懸想される。</p>	<p>浮舟</p>  <p>宇治の大君・宇治の中の君の異母妹 薫と匂宮に愛され、板挟みになって悩み、入水を図る。</p>
--	---	--

82 ページ 『源氏物語』の登場人物「補足資料」



92 ページ 朗読 雲林院の菩提講「音声」



92 ページ 小テスト 大鏡 (一)「クイズ」

ホームへ 書名入

古文編 | 部

108ページ 小テスト 八代集の世界

- 宇治拾遺物語
- 古今著聞集
- 和歌の心ー解釈のプロセス
- 伊勢物語
- 大和物語
- 枕草子
- 平家物語
- 方丈記
- 徒然草
- 玉勝間
- 更級日記
- 蜻蛉日記
- 源氏物語 (一)
- 大鏡 (一)

八代集の世界

- 歌合
- 歌論
- 歌謡
- 世間胸算用

五三三三・六三三三

ボタン位置 切りかえ

『後拾遺和歌集』518番歌として、空欄に当てはまる語句を選べ。

都をば霞とともに立ち () ど秋風ぞ吹く白河の関

しか
たれ
けれ
ぬれ

メニューへ 1/5

108ページ 小テスト 八代集の世界「クイズ」

ホームへ 書名入る

古文編 | 部

114ページ 小テスト 歌合

- 宇治拾遺物語
- 古今著聞集
- 和歌の心ー解釈のプロセス
- 伊勢物語
- 大和物語
- 枕草子
- 平家物語
- 方丈記
- 徒然草
- 玉勝間
- 更級日記
- 蜻蛉日記
- 源氏物語 (一)
- 大鏡 (一)
- 八代集の世界
- 歌合
- 歌論
- 歌謡
- 世間胸算用

2022.10.10 10:10

ボタン位置
切り替え

歌合において、判定の理由を述べた
文章を何としようか。

判詞

番

左方

陳状

メニューへ 1/5

114
ページ
小テスト
歌合「クイズ」

ホームへ 書名入る

古文編 | 部

117ページ 小テスト 歌論

- 宇治拾遺物語 >
- 古今著聞集 >
- 和歌の心ー解釈のプロセス >
- 伊勢物語 >
- 大和物語 >
- 枕草子 >
- 平家物語 >
- 方丈記 >
- 徒然草 >
- 玉勝間 >
- 更級日記 >
- 蜻蛉日記 >
- 源氏物語 (一) >
- 大鏡 (一) >
- 八代集の世界 >
- 歌合 >
- 歌論
- 歌謡 >
- 世間胸算用 >

2025.10.10 10:10

ボタン位置 切りかえ

「古今和歌集仮名序」の冒頭の文として、空欄に当てはまる語句を選べ。

やまと歌は、人の心を（ ）として、よろづの言の葉とぞなれりける。

種

源

実

文

メニューへ 1/5

117ページ 小テスト 歌論 「クイズ」

ホームへ 書名入る

古文編 | 部

122ページ 小テスト 歌謡

- 宇治拾遺物語
- 古今著聞集
- 和歌の心ー解釈のプロセス
- 伊勢物語
- 大和物語
- 枕草子
- 平家物語
- 方丈記
- 徒然草
- 玉勝間
- 更級日記
- 蜻蛉日記
- 源氏物語 (一)
- 大鏡 (一)
- 八代集の世界
- 歌合
- 歌論
- 歌謡
- 世間胸算用

ボタン位置 切りかえ

『梁塵秘抄』の歌として、空欄に当てはまる語句を選べ。

仏は常にいませども (①) ならぬぞあはれなる
 人の音せぬ (②) に ほのかに夢に見え給ふ

①昔 ②晩
 ①現 ②晩
 ①現 ②黄昏
 ①昔 ②黄昏

メニューへ 1/5

122ページ 小テスト 歌謡 「クイズ」

ホームへ

書名入

古文編 | 部

126ページ 小テスト 世間胸算用

- 宇治拾遺物語
- 古今著聞集
- 和歌の心ー解釈のプロセス
- 伊勢物語
- 大和物語
- 枕草子
- 平家物語
- 方丈記
- 徒然草
- 玉勝間
- 更級日記
- 蜻蛉日記
- 源氏物語 (一)
- 大鏡 (一)
- 八代集の世界
- 歌合
- 歌論
- 歌種
- 世間胸算用

メニューへ

ボタン位置
切りかえ

『世間胸算用』の作者を選べ。

式亭三馬

十返舎一九

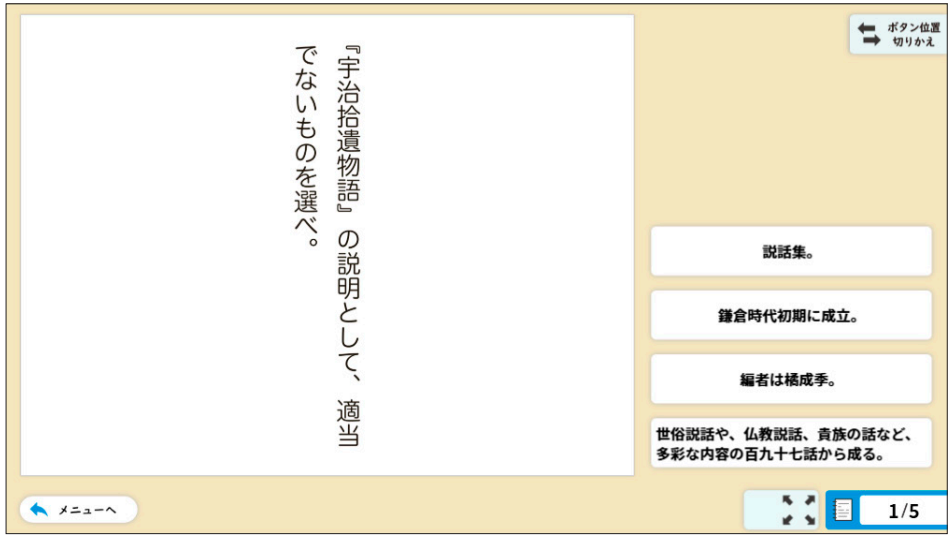
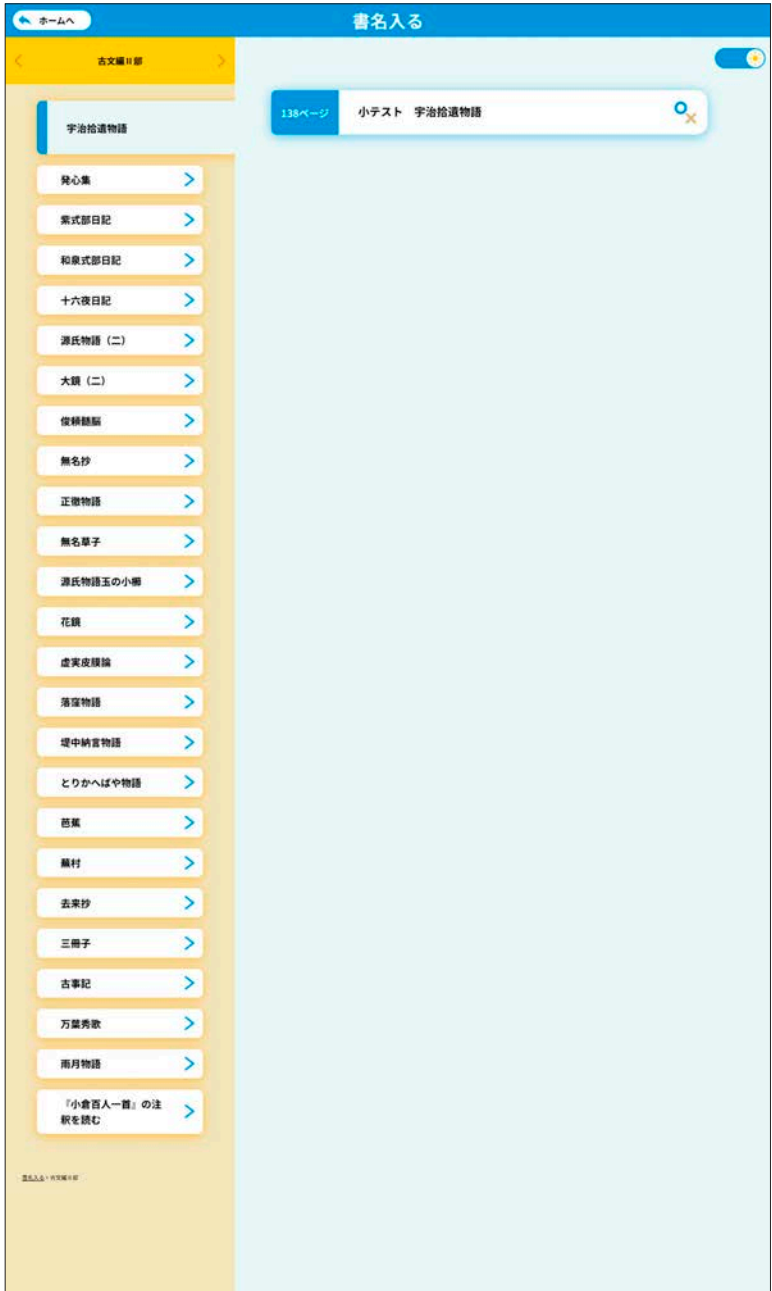
井原西鶴

為永春水

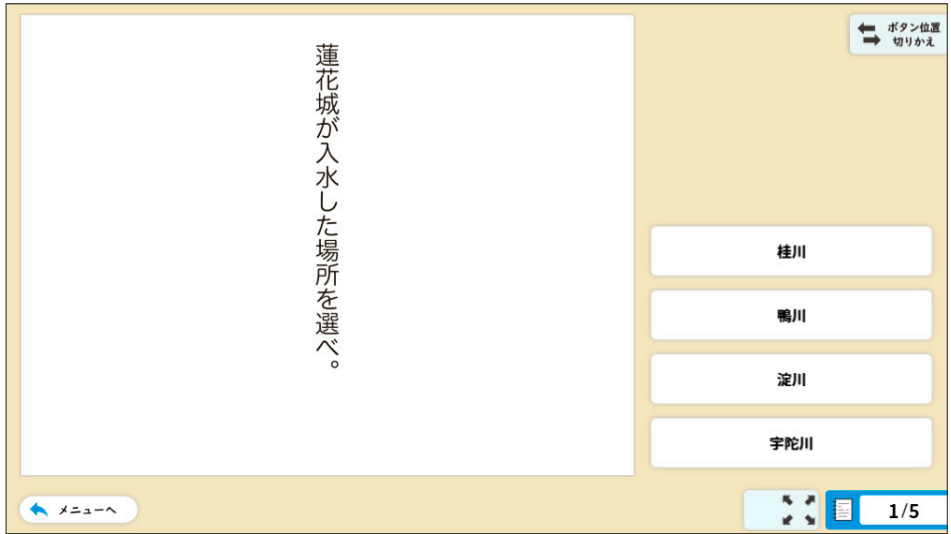
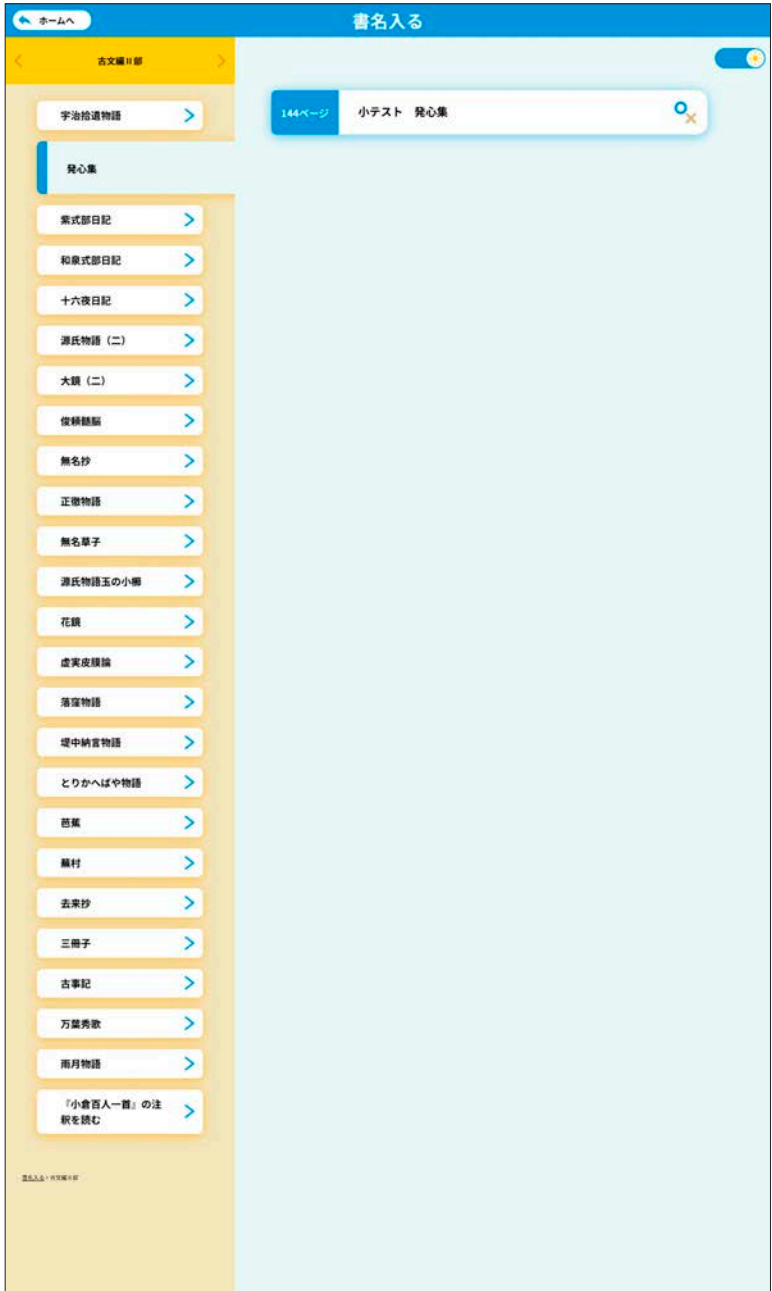
メニューへ

1/5

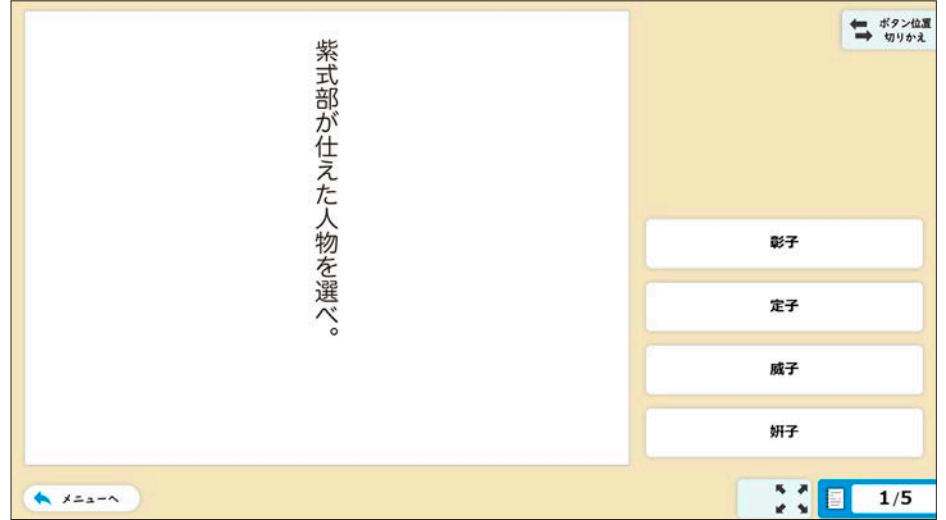
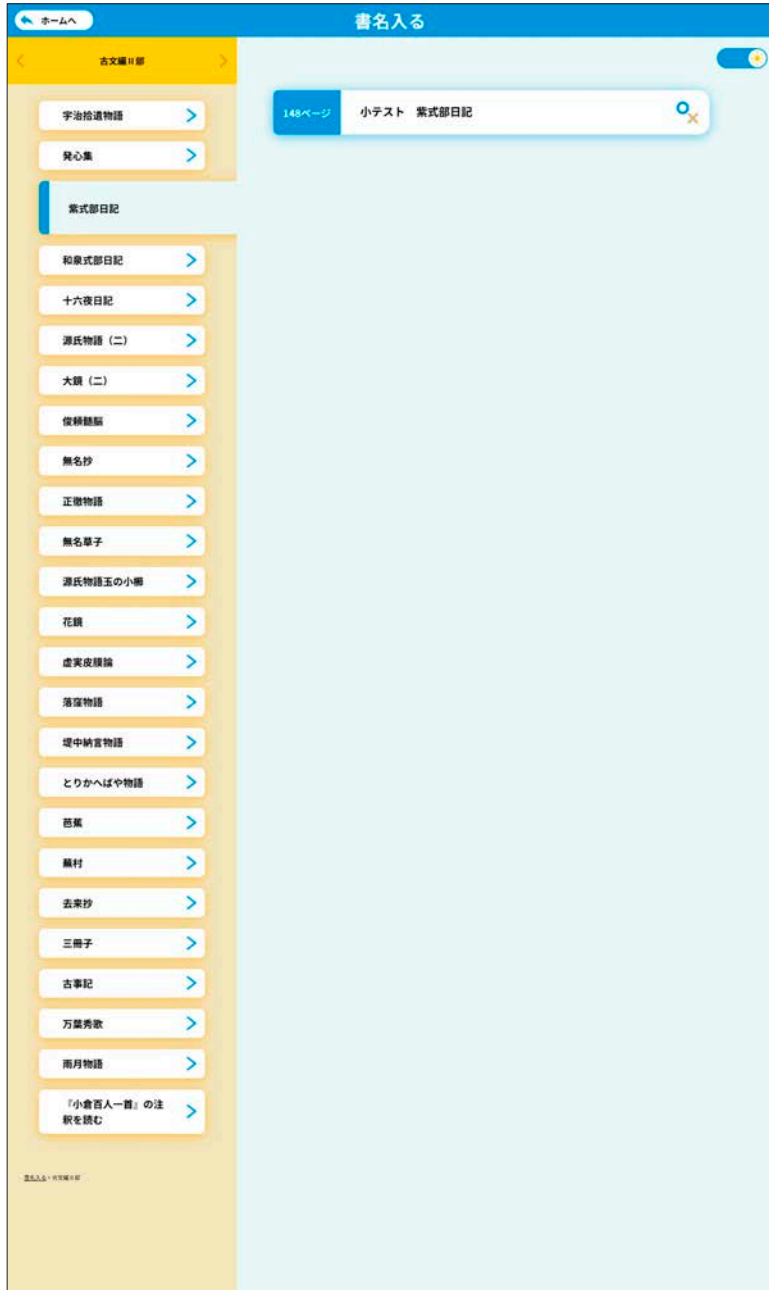
126ページ 小テスト 世間胸算用 「クイズ」



138 ページ 小テスト 宇治拾遺物語 「クイズ」



144ページ 小テスト 発心集 「クイズ」



148
ページ
小テスト
紫式部日記
「クイズ」

ホームへ

書名入る

古文庫目録

- 宇治拾遺物語
- 発心集
- 紫式部日記
- 和泉式部日記**
- 十六夜日記
- 源氏物語 (二)
- 大鏡 (二)
- 信賴勅願
- 無名抄
- 正徳物語
- 無名草子
- 源氏物語玉の小櫛
- 花鏡
- 虚実皮履論
- 落窪物語
- 堤中納言物語
- とりかへばや物語
- 芭蕉
- 藤村
- 去来抄
- 三冊子
- 古事記
- 万葉秀歌
- 雨月物語
- 『小倉百人一首』の注釈を読む

152ページ 小テスト 和泉式部日記

ボタン位置
切りかえ

「夢よりもはかなき世の中を」「世の中」の意味として、適当なものを選び。

- 名声。
- 男女の仲。
- 天皇の治世。
- 世間。

メニューへ

1/5

152
ページ
小テスト
和泉式部日記「クイズ」

ホームへ

書名入る

古文庫目録

宇治拾遺物語 >

発心集 >

紫式部日記 >

和泉式部日記 >

十六夜日記

源氏物語 (二) >

大鏡 (二) >

信賴勅願 >

無名抄 >

正徳物語 >

無名草子 >

源氏物語玉の小櫛 >

花鏡 >

虚実皮類論 >

落窪物語 >

堤中納言物語 >

とつかへばや物語 >

芭蕉 >

藤村 >

去来抄 >

三冊子 >

古事記 >

万葉秀歌 >

雨月物語 >

『小倉百人一首』の注釈を読む >

155ページ 小テスト 十六夜日記

ボタン位置
切りかえ

『十六夜日記』の作者を選べ。

阿仏尼

藤原道綱母

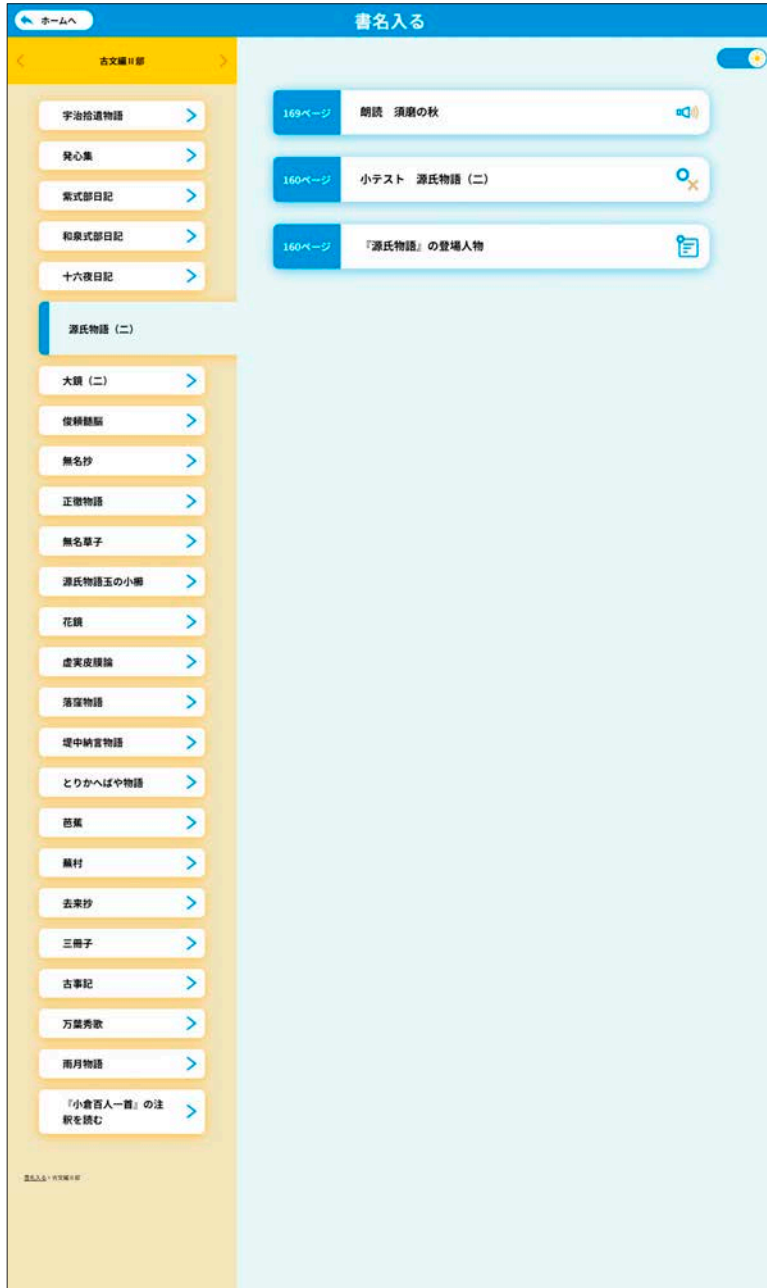
紫式部

菅原孝標女

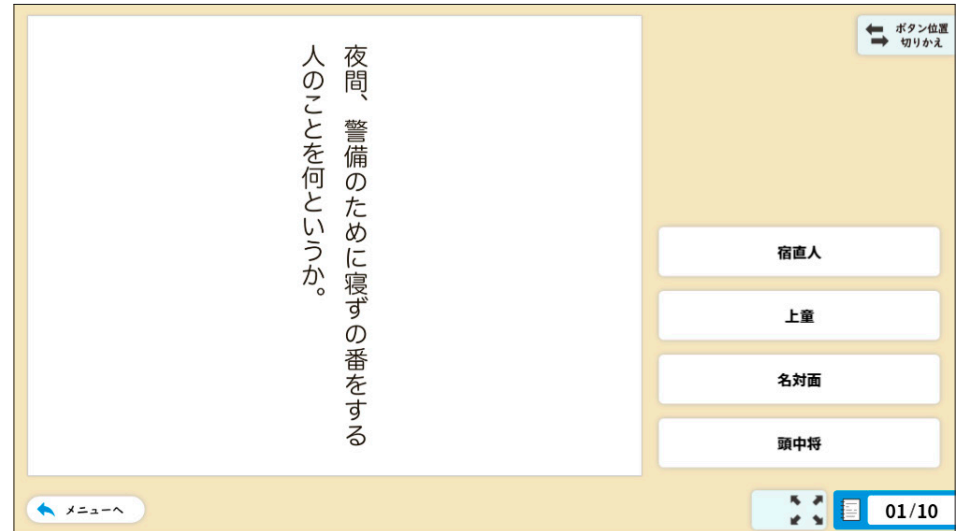
メニューへ

1/5

155
ページ
小テスト
十六夜日記
「クイズ」





















169
ページ
朗読
須磨の秋「音声」




160
ページ
小テスト
源氏物語 (二)「クイズ」

『源氏物語』の登場人物


第一部・第二部

 <p>桐廬の帝</p> <p>光源氏の父 桐廬の更衣を寵愛して光源氏をもつける。</p>	 <p>桐廬の更衣</p> <p>光源氏の母 桐廬の帝の寵愛を受けて光源氏を産む。</p>	 <p>冷泉帝</p> <p>光源氏の皇子 表面きは桐廬の帝の第十皇子だが、実は光源氏と藤原の宮との不義の子。</p>	 <p>光源氏</p> <p>第一部・第二部の主人公 容姿と才に恵まれ、風流を解する理想的な貴公子。</p>	
 <p>夕霧</p> <p>光源氏の皇子 母は皇后。幼なじみの雲居の藤と結婚する。左大臣となる。</p>	 <p>藤廬の宮</p> <p>光源氏の寵愛の女性 顔が深く、その生き霊が姿から、桐廬の帝に望まれて入内する。</p>	 <p>葵の上</p> <p>光源氏の正妻 因縁年下の光源氏と結婚するが、互いに打ち解けない。</p>	 <p>若紫・紫の上</p> <p>光源氏の妻の一人(藤原の宮の娘) 幼くして実母と死別したが、光源氏に引き取られ、後に妻となる。才色兼備で光源氏から終生大切にされる寵愛的な女性として描かれる。</p>	
 <p>夕顔</p> <p>光源氏の愛人 光源氏と互いに素性を明かさないまま逢瀬を重ねる。</p>	 <p>六条の御息所</p> <p>光源氏の愛人 顔が深く、その生き霊が姿の上や夕顔を死に至らせる。</p>	 <p>麗月夜の尚侍</p> <p>光源氏の愛人 光源氏と一度知りあうが、光源氏が失脚し、須磨に下る原因となる。</p>	 <p>明石の君</p> <p>光源氏の妻の一人 須磨から明石に移った光源氏と契り、後に中宮となる明石の姫君を産む。</p>	 <p>女三の宮</p> <p>光源氏の正妻(藤原の宮の娘) 幼くして死別し、光源氏を寵愛させる。柏木と逢瀬を重ねる。</p>
 <p>花散里</p> <p>光源氏の妻の一人 まじめで堅やかな性格で、長く光源氏の寵愛を受ける。</p>	 <p>玉鬘</p> <p>夕霧の娘 光源氏をはじめ多くの男性から思いを寄せられるが、黒屋の大將と結婚する。</p>	 <p>空蝉</p> <p>光源氏の愛人 光源氏と一度知りあうが、以後は光源氏の求愛を受け入れなかった。</p>	 <p>末摘花</p> <p>光源氏の愛人 高貴な性格で、長く垂れた鼻の先が赤い。苦しい生活の中で光源氏を思い続けた。</p>	 <p>朝顔</p> <p>光源氏の従姉妹 頼みごとで聡明な女性。光源氏から長きにわたって求愛を受けるが、拒み続けた。</p>


第三部




光源氏




匂宮



宇治の大君



宇治の中の君



浮舟

第三部の主人公(光源氏の孫)
母は明石の姫君(中宮)。薫に対抗心を抱いている。情熱的で色好み的人物。

光源氏の異母弟の娘
薫から思いを寄せられるが、薫と宇治の中の君との結婚を望む。

宇治の大君の妹
匂宮と結婚するも、亡き宇治の大君の面影を求める薫から懇望される。

宇治の大君・宇治の中の君の異母妹
薫と匂宮に愛され、板杖みになって翁、入水を図る。

ホームへ 書名入る

古文庫目録

- 宇治拾遺物語
- 発心集
- 紫式部日記
- 和泉式部日記
- 十六夜日記
- 源氏物語(二)
- 大鏡(二)**
- 信賴勅願
- 無名抄
- 正徳物語
- 無名草子
- 源氏物語玉の小櫛
- 花鏡
- 虚実皮類論
- 落窪物語
- 堤中納言物語
- とつかへばや物語
- 芭蕉
- 藤村
- 去来抄
- 三冊子
- 古事記
- 万葉秀歌
- 雨月物語
- 『小倉百人一首』の注釈を読む

196ページ 小テスト 大鏡(二)

ボタン位置切りかえ

和歌の船。

作文の船。

管絃の船。

親射の船。

メニューへ 1/7

適当なものをかきこせ。「三船」の「三」を「二」に改めよ。

196ページ 小テスト 大鏡(二) 「クイズ」

ホームへ

書名入る

古文庫目録

- 宇治拾遺物語 >
- 発心集 >
- 紫式部日記 >
- 和泉式部日記 >
- 十六夜日記 >
- 源氏物語(二) >
- 大鏡(二) >
- 俊賴髓腦
- 無名抄 >
- 正徳物語 >
- 無名草子 >
- 源氏物語玉の小櫛 >
- 花鏡 >
- 虚実皮類論 >
- 落窪物語 >
- 堤中納言物語 >
- とりかへばや物語 >
- 芭蕉 >
- 藤村 >
- 去来抄 >
- 三冊子 >
- 古事記 >
- 万葉秀歌 >
- 雨月物語 >
- 『小倉百人一首』の注釈を読む >

212ページ 小テスト 俊賴髓腦

ボタン位置
切りかえ

藤原長能が詠んだ歌として、空欄に当てはまる語句を選べ。

霰降る交野の御野の狩衣濡れ(①)
宿貸す人(②)なければ

①る ②そ

①ぬ ②そ

①る ②し

①ぬ ②し

メニューへ

1/5

212ページ 小テスト 俊賴髓腦 「クイズ」

ホームへ

書名入る

古文庫目録

字治拾遺物語 >

発心集 >

紫式部日記 >

和泉式部日記 >

十六夜日記 >

源氏物語(二) >

大鏡(二) >

俊賴朝臣 >

無名抄

正徳物語 >

無名草子 >

源氏物語玉の小櫛 >

花鏡 >

虚実皮類論 >

落窪物語 >

堤中納言物語 >

とりかへばや物語 >

芭蕉 >

藤村 >

去来抄 >

三冊子 >

古事記 >

万葉秀歌 >

雨月物語 >

『小倉百人一首』の注釈を読む >

214ページ 小テスト 無名抄

メニューへ

ボタン位置
切りかえ

『無名抄』の作者を選べ。

鴨長明

兼好法師

源実朝

二条良基

メニューへ

1/5

214
ページ
小テスト
無名抄「クイズ」

ホームへ 書名入る

古文庫目録

- 宇治拾遺物語 >
- 発心集 >
- 紫式部日記 >
- 和泉式部日記 >
- 十六夜日記 >
- 源氏物語(二) >
- 大鏡(二) >
- 俊賴朝臣 >
- 無名抄 >
- 正徹物語
- 無名草子 >
- 源氏物語玉の小櫛 >
- 花鏡 >
- 虚実皮類論 >
- 落窪物語 >
- 堤中納言物語 >
- とりかへばや物語 >
- 芭蕉 >
- 藤村 >
- 去來抄 >
- 三冊子 >
- 古事記 >
- 万葉秀歌 >
- 雨月物語 >
- 『小倉百人一首』の注釈を読む >

216ページ 小テスト 正徹物語

ボタン位置 切りかえ

「為秀」、「了俊」の説明として、**適当**でないものを選び。

- 為秀は正徹の和歌の弟子である。
- 為秀は藤原定家の曾孫である。
- 了俊とは今川貞世のことである。
- 了俊は南北朝・室町時代前期の武将、歌人である。

メニューへ 1/5

216 ページ 小テスト 正徹物語「クイズ」